

2026

授業計画（シラバス）

杉野服飾大学 服飾文化学科
2年次（2025年度生）

リ・ファッション実習

井口 多恵子

服飾文化学科 2年 前期 必修 (2単位 実験実習)

授業の方針・概要

1年次「サステナブルファッション概論」で得た知識をもとに、アパレル業界、自治体に取り組んでいる環境に配慮した活動や現状を知り、それらの取り組みを理解したうえで古着や不用衣料品からアップサイクルになる衣料品について考え、実制作に繋げる。制作するうえでさらに必要な服飾の知識や縫製技術を修得する。

到達目標(学修成果)

アップサイクル作品の制作を通して応用力、発想力を身に付ける
作品制作に必要な縫製技術を身につける

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門必修科目で卒業要件単位の科目。服飾に関係する現代的な問題(SDGs等)を解決する能力を備える科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

提出される課題、作品は点検後評価し、授業内に返却する。学生ポータルサイトにコメントする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

基礎テキスト 杉野学園 ドレメ式原型 杉野学園 PATTERN MAKING ・ 杉野学園 SEWING ・ 杉野学園

参考文献

必要に応じて適宜紹介します

オフィスアワー・研究室

初回授業にお知らせします

備考

状況により内容、日程に変更があります
準備学修の時間は各自が必要な時間を行うようにしてください

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 井口	授業の概要について、著作権について さまざまなアイテムの服の形を観察する パンツについて	予習：シラパスを読んで確認する	30分
2回 井口	パンツについて 基本パンツ製図(1/2縮尺) 提出 課題作品パンツ部分縫製	復習：遅滞箇所を行う	30分
3回 井口	課題作品：パンツ部分縫製 情報収集：訪問先の自治体について	復習：遅滞箇所を行う	30分
4回 井口	情報収集：訪問先の自治体について 環境に関する取り組みについての講義、見学(自治体訪問)	復習：環境に関する取り組みをまとめる	30分
5回 井口	課題作品：パンツ部分縫製 提出 実物制作(アップサイクル作品)制作テーマ考案	復習：遅滞箇所を行う	60分
6回 井口	実物制作(アップサイクル作品) デザイン考案 使用する素材を調べる	復習：遅滞箇所を行う	30分
7回 井口	実物制作(アップサイクル作品)作品についてのディスカッション 縫製について	復習：遅滞箇所を行う	30分
8回 井口	実物制作(アップサイクル作品)パターンメイキング またはドレーピング	復習：遅滞箇所を行う	30分
9回 井口	実物制作(アップサイクル作品)縫製	復習：遅滞箇所を行う	30分
10回 井口	実物制作(アップサイクル作品)縫製	復習：遅滞箇所を行う	30分
11回 井口	実物制作(アップサイクル作品)縫製	復習：遅滞箇所を行う	30分
12回 井口	実物制作(アップサイクル作品)縫製	復習：遅滞箇所を行う	30分
13回 井口	実物制作(アップサイクル作品)縫製	復習：遅滞箇所を行う	30分
14回 井口	実物制作(アップサイクル作品)仕上げ プレゼンテーション資料作成	予習：プレゼンテーションの準備 復習：遅滞箇所を行う	60分
15回 井口	プレゼンテーション発表、提出作品のディスカッション まとめ	予習：プレゼンテーションの準備	60分

服飾史料研究

菅野 ももこ

服飾文化学科 2年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

実物、図書資料の観察他、様々な方法で服飾文化史を辿り、今後の学びの基礎となるよう、客観的な事実、知識を身に着けます。本授業では、実物資料の観察を経て、その資料が制作された背景、社会を理解するために「言葉で綴られた服飾文化史」、「描かれた服飾文化史」、「再現された服飾文化史」を学びます。また、学んだことを一つ一つ記録するために、授業時間内に小レポートを作成する時間を確保し、服飾文化に対する理解を深めます。

到達目標 (学修成果)

服飾文化について多角的に学ぶことができる。実物資料の観察、図書資料の活用を実践し、自主的に学ぶ力を養います。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業要件科目です。演習授業です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内容に応じて用意する課題レポートについては、添削やコメントを付して対面で返却します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

必要に応じて授業内で紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

状況により、日程や内容を変更する場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 菅野	オリエンテーション 国内外の博物館コレクションについて学ぶ	予習：シラバスの確認	30分
2回 菅野	国内外の博物館コレクションについて学ぶ ・ データベース検索 (アクティブラーニング)	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
3回 菅野	実物資料の観察と学び ・ アジアの服飾資料・着用された地域、模様他の調査	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
4回 菅野	実物資料の観察と学び ・ 西洋の服飾資料・制作された年代と社会、デザイナーについての調査	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
5回 菅野	言葉で綴られた服飾文化史 ・ コラムを読み解く	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
6回 菅野	言葉で綴られた服飾文化史 ・ 論文を読み解く	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
7回 菅野	言葉で綴られた服飾文化史 ・ 文学作品を読み解く	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
8回 菅野	言葉で綴られた服飾文化史 ・ 文学作品を読み解く	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
9回 菅野	言葉で綴られた服飾文化史 ・ 総括、小レポート作成	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
10回 菅野	描かれた服飾 ・ 本学図書館蔵貴重書の熟覧	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
11回 菅野	描かれた服飾 ・ 本学図書館蔵貴重書の熟覧	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
12回 菅野	描かれた服飾 ・ 総括、小レポート作成	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
13回 菅野	再現された服飾 ・ 歴史衣裳人形の観察と同定	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
14回 菅野	再現された服飾 ・ 総括、小レポート作成	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
15回 菅野	様々な角度から服飾を学ぶことの意味についてディスカッション (アクティブラーニング)	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分

日本服飾文化史

梅谷 知世

服飾文化学科 2年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

アジアの東端に位置する日本は、古くから中国をはじめとする諸外国の影響をうけながら、独自の美意識に基づく豊かな服飾文化を作りだし成熟させてきました。この授業では、服飾・染織品の実物資料、文献資料、図像資料などを用いて原始・古代から近代にいたる日本服飾の移り変わりを概説します。さらに、各時代の服飾の特質を政治や社会との関係、造形性、美意識、同時代の演劇・美術・文芸との関連性、外国文化の影響などさまざまな視点から捉え、服飾の多様なあり方について考えます。講義形式で進めますが、授業中に取り上げるテーマについてグループでのディスカッションも行います。

到達目標（学修成果）

- ・原始・古代から近代までの日本服飾の移り変わりを理解し、説明することができる。
- ・各時代の服飾の特質について、同時代の資料に基づいて理解し説明することができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門必修科目の卒業要件科目です。学芸員課程必修科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回の課題（授業内容の復習）について、次回授業時にフィードバックを行います。質問は随時受け付けます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

使用しません。授業の進行にあわせてプリントを配布します。

参考文献

増田美子編『図説日本服飾史事典』（東京堂出版） 増田美子監修『ビジュアル日本の服装の歴史① ③』（ゆまに書房）
その他の参考文献は授業中に紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

博物館や美術館に積極的に足を運び、服飾・染織の実物遺品や絵画作品など図像資料を見学する機会を持つよう心がけて下さい。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 梅谷	日本服飾文化史の視点	シラバスを読み授業概要を理解する。	30分
2回 梅谷	縄文・弥生時代の服飾	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
3回 梅谷	古墳時代の服飾	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
4回 梅谷	飛鳥時代の服飾：服制のはじまりと唐風摂取	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
5回 梅谷	奈良時代の服飾：衣服令と唐風服飾	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
6回 梅谷	正倉院の服飾・染織	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
7回 梅谷	平安時代の服飾（1）：和様の開花	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
8回 梅谷	平安時代の服飾（2）：重ね色目	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
9回 梅谷	鎌倉・室町時代の服飾：武家服飾の成立と発展	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
10回 梅谷	小袖服飾の確立	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
11回 梅谷	安土桃山時代の服飾：武家服飾の変容と南蛮服飾	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
12回 梅谷	江戸時代の服飾（1）：武家服制の確立と町人服飾の充実	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
13回 梅谷	江戸時代の服飾（2）：小袖の開花	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
14回 梅谷	近代の服飾：洋服の浸透と和装の近代化	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
15回 梅谷	まとめ	これまでの授業内容の振り返りを行い、十分理解する。	120分

ファッション史

鈴木 桜子

服飾文化学科 2年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

私たちがいま着ている現代衣服の源流は、およそ100年前に遡ります。その間、多くの革新的なデザイナーが誕生し、流行のファッションが繰り広げられてきました。しかし、一見、一過性の流行と思われるがちなその現象の背後には、政治的・社会問題や同時代の芸術・デザイン運動との関連性が見受けられます。

上記より本授業の方針として、近現代を中心に、芸術・デザイン諸領域の動向を理解しながら、服飾デザインの理論とその歴史性を探っていく視点を重視していきます。

到達目標(学修成果)

時代の造形思考を学ぶことによって、衣服に対する、デザインに対する考え方が持てるようになること、尚且つこれからの衣服の在り方について、多様な視点で見据えていこうとするきっかけが持てるようになることが本授業の到達目標です。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目にあたる専門必修科目です。1年次の必修科目「西洋服飾文化史」と合わせて服飾史として通史が完成される内容になっています。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業の進行状況にあわせて、授業ノートの評価を行い、授業内でフィードバックをしていきます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

杉野服飾大学オープン教育リソース グラフィック年表「現代ファッションの100年」

本学掲載P <https://www.sugino-fc.ac.jp/about/resources/>

参考文献

授業内容に応じて紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 鈴木	オリエンテーション 現代ファッションの100年	シラバスの確認	30分
2回 鈴木	・デザイン運動とファッション ジャポニスム	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
3回 鈴木	改良服運動	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
4回 鈴木	アール・ヌーヴォー	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
5回 鈴木	ウィーン工房	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
6回 鈴木	デ・スタイルとロシア構成主義	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
7回 鈴木	バウハウス	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
8回 鈴木	・モードの革新者たち マドレーヌ・ヴィオネ	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
9回 鈴木	ガブリエル・シャネル	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
10回 鈴木	エルザ・スカパレリ	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
11回 鈴木	戦後のモード -ディオールからサンローランまで-	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
12回 鈴木	モードの多様化 アンチ・モード-	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
13回 鈴木	日本人デザイナーたち	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
14回 鈴木	北欧デザインとファッション	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
15回 鈴木	まとめと評価	総復習テストの準備	100分

アパレル素材論

徳田 貴美江

服飾文化学科 2年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

アパレルに使用される布に焦点を当て、基本的な知識、専門用語を理解するために説明する。応用力を育成するために、実物サンプルを提示しながら解説し、理解を深める。素材に関する知識と素材そのものが持つ手触りや布の表情など、服飾造形を作り出す素材に関心を寄せ、布の種類や構造を理解し、アパレル素材の基本的な知識を修得することを方針とする。

到達目標(学修成果)

基本的な素材の名称や性質、専門用語、織物やニット生地に関する知識を修得することができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は専門選択科目で、全コース卒業要件科目となります。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

毎回授業終了時に小テストを行い、翌週答え合わせをする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

「アパレル素材の基本」織研新聞社

参考文献

「テキスタイル用語辞典」テキスタイル・ツリー 成田典子著

オフィスアワー・研究室

テキスタイルデザイン研究室(3011)

初回授業で提示

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 徳田	ガイダンス ビデオ視聴	(予習)衣服材料学で学んだ内容を復習する	30分
2回 徳田	何を着ているのか 素材について 繊維 糸 布の製造プロセス	(復習)自分の着ている衣服の素材を調べる	30分
3回 徳田	布の分類 織物とは 織物の三原組織	(復習)身の回りにある布製品から、織物でできているものを見つける。	30分
4回 徳田	織物の種類と織物組織 規格、物性について	(復習)衣服に使われている織物の組織を確認する。	30分
5回 徳田	綿について 綿織物	(復習)衣服の市場調査をし、綿織物の手触りや風合いを観察する。	60分
6回 徳田	綿織物	(復習)綿の繊維や生地の特徴が製品にどのように活かされているのか考察する。	60分
7回 徳田	ウールについて ビデオ視聴 毛織物	(復習)衣服の市場調査をし、毛織物の手触りや風合いを観察する。	60分
8回 徳田	毛織物	(復習)毛の繊維や生地の特徴が製品にどのように活かされているのか考察する。	60分
9回 徳田	絹と化合織について 化合織織物	(復習)絹や化合織織物を市場調査し、手触りや風合い、アイテムを確認する。	30分
10回 徳田	ニット 緯編	(復習)ニット製品を市場調査し、特徴を理解する。	30分
11回 徳田	ニット 経編・レース	(復習)経編の製品を調査し、その特徴やアイテムを確認する。	30分
12回 徳田	不織布・皮革	(復習)革製品(含む人工皮革等)を観察し、特徴や用途を捉える。	30分
13回 徳田	染色・加工	(復習)授業内で聞いた内容に該当する衣服を探し、改めてその特徴を理解する。	30分
14回 徳田	産地・復習	(復習)全国にある産地を復習する。	30分
15回 徳田	まとめ 課題(試験やレポート等)のフィードバックを行う	(復習)授業内容を振り返り、まとめをする。	30分

CADパターンメイキング

高橋 芽衣

服飾文化学科 2年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

CAD(Computer Aided Design)の基本操作を学び、平面パターン設計を学修することを方針とします。CADの簡単な操作方法から学び、パターン設計 アパレルでの流れも学修します。

到達目標(学修成果)

CADの基本操作とアパレルに必要な総合的なCADシステムの使用方法を修得することを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー(学位授与の方針)については、モードクリエイションコース・インダストリアルパターンコース・服飾文化学科の必修科目であり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業の後半に、その回学んだことを復習の意味で小テストします。小テストは教員が添削し、次週返却し学生はそのデータの確認を行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

配布プリント

参考文献

パターンメイキングの原理 (大野順之助 著)

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの日時は初回の授業時にお知らせします。研究室：3211教室(第3校舎2F)

備考

CADは自宅では使用できないコンピュータソフトのため、授業時間内に行うことをしっかり覚えていくこと、また欠席しないことをお奨めします。また進度により日程及び内容を変更することがあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 高橋	オリエンテーション、CADの基本説明	予習：シラバスを読んでおくこと パソコンによる手慣らし	30分
2回 高橋	CADの基本操作	予習：パソコンによる手慣らし	30分
3回 高橋	ダーツ展開1(基本) ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
4回 高橋	ダーツ展開2(応用) ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
5回 高橋	袖 ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
6回 高橋	ギャザー(身頃) ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
7回 高橋	ギャザー(スカート)1 ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
8回 高橋	ギャザー(スカート)2 ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
9回 高橋	前半の復習	予習：前半の整理、再確認しておく	30分
10回 高橋	キュロットスカート ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
11回 高橋	工業パターン1(パーツ化) ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
12回 高橋	工業パターン2(縫い代付け)・小テスト マーキング(グループワーク)	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
13回 高橋	グレーディング(スカート) ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
14回 高橋	まとめ1	予習：全体を整理、再確認しておく	30分
15回 高橋	まとめ2(テスト)	予習：全体を整理、再確認しておく	30分

レプリカ製作（民族衣裳）

菅野 ももこ

服飾文化学科 2年 後期 必修（2単位 実験実習）

授業の方針・概要

世界各国、各地域には、その土地の気候や信仰にあわせて、多様な発展を遂げてきた衣裳が存在します。本授業では、杉野学園衣裳博物館が所蔵する東欧の民族衣裳（チュニック）をテーマとします。限られた素材を余すところなく使用する合理的な裁断、縫製方法を取り入れて制作された衣服の構造について理解を深めます。材料にはシーチングを使用します。

到達目標（学修成果）

本学衣裳博物館が所蔵する実物及び、先行研究で紹介されている展開図をもとにレプリカを制作する。更に、その過程で得られる服を作るための様々な方法を習得し、新たな創造の糧となるよう理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業要件科目です。実験実習授業です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内容に応じて用意する課題レポートについては、添削やコメントを付して対面で返却します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

必要に応じて授業内で紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

状況により、日程や内容を変更する場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 菅野	オリエンテーション ・ 合理的に素材を活用した衣服の形について学ぶ。	予習：シラバスの確認	30分
2回 菅野	制作対象資料の観察と記録 ・ 形の特徴を捉え、計測する。縫製方法の観察。	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
3回 菅野	制作対象資料の観察と記録 ・ 型紙作成と検証。	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
4回 菅野	制作対象資料の観察と記録 ・ 実物資料を忠実に写し取れているか確認。	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
5回 菅野	形の再現 ・ 紙を使用して形の特徴を把握する。	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
6回 菅野	細部の再現 ・ 縫製手順と縫製方法の確認。部分縫い作成。	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
7回 菅野	実物制作	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
8回 菅野	実物制作	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
9回 菅野	実物制作	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
10回 菅野	実物制作	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
11回 菅野	制作したレプリカの観察及びトルソーへの着装 ・ 形や細部から着用された地域との関りを考察する。	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
12回 菅野	レポート作成 ・ 参考資料の検索。	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
13回 菅野	レポート作成 ・ テキスト執筆。	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
14回 菅野	レポート作成 ・ 必要画像の撮影、整理画像、参考文献の整理。	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
15回 菅野	総括 ・ 制作したレプリカとレポートの提出。	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分

民族衣装論

梅谷 知世

服飾文化学科 2年 後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

世界各地の民族服飾は、それぞれの自然環境や文化環境の中で生まれ、時代とともに変化しながら今日に受け継がれてきました。本授業では、アジアを中心に、アメリカやヨーロッパのさまざまな地域の民族服飾を取り上げます。人びとの手仕事によって生み出されてきた民族服飾の形態、素材、織り・染め・刺繍などの技法、文様について学ぶとともに、それらがどのような背景のもとで成立し、変化してきたのか、そして民族服飾が民族にとってどのような意味をもつのかを、気候風土や暮らし、信仰、異文化交流など多様な視点から捉えていきます。

到達目標(学修成果)

- ・民族服飾と自然環境・文化環境との関係性、ならびに民族服飾の意味について理解する。
- ・その特徴が、近代化やグローバル化の中でどのような状況にあるのかを理解する。
- ・民族服飾を通して異文化への関心を深め、自らとは異なる価値観を理解し尊重する姿勢を身につける。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門必修科目の卒業認定科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業内課題について、次回授業時にフィードバックを行います。授業内容についての質問や相談には随時対応します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

使用しません。授業の進行にあわせてプリントを配布します。

参考文献

国立民族学博物館編『国立民族学博物館展示案内』(2017)
その他の参考文献は授業中に紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

世界各地の民族に関心を持ち、新聞やインターネットの報道に注意するようにしてください。
美術館や博物館に足を運び、民族服飾の実物を見学する機会を持つよう心がけてください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 梅谷	民族服飾とは何か	予習: シラバスを読み授業内容を理解する。	30分
2回 梅谷	民族服飾を学ぶ視点	予習: 参考文献を図書館で確認する。	90分
3回 梅谷	アメリカの民族服飾(グアテマラ・マヤ民族)	予習: グアテマラの気候風土とマヤ民族の歴史について調べる。	90分
4回 梅谷	東アジアの民族服飾(中国・旗袍)	予習: 近代中国の歴史について調べる。	90分
5回 梅谷	東アジアの民族服飾(中国・少数民族)	予習: 中国の少数民族の居住地域を確認する。	90分
6回 梅谷	博物館見学	復習: 博物館見学のレポートを作成する	90分
7回 梅谷	東アジアの民族服飾(アイヌ)	予習: アイヌ民族の歴史について調べる。	90分
8回 梅谷	東アジアの民族服飾(琉球)	予習: 琉球王国と近現代沖縄の歴史について調べる。	90分
9回 梅谷	東南アジアの民族服飾(ラオス)	予習: ラオスの気候風土と歴史について調べる。	90分
10回 梅谷	南アジアの民族服飾(インド)	予習: インドの気候風土と歴史・宗教について調べる。	90分
11回 梅谷	南アジアの民族服飾(インド西部)	予習: インド西部の気候風土について調べる	90分
12回 梅谷	西アジアの民族服飾(サウジアラビアなど)	予習: 西アジアの気候風土と宗教について調べる。	90分
13回 梅谷	ヨーロッパの民族服飾(スコットランド)	予習: スコットランドの気候風土と歴史について調べる。	90分
14回 梅谷	ヨーロッパの民族服飾(東欧)	予習: ブルガリアとルーマニアの気候風土と歴史について調べる。	90分
15回 梅谷	民族服飾の継承とその可能性: ディスカッション	復習: これまでの授業内容を振り返り十分理解する。	90分

ファッションと環境

和田 早苗

服飾文化学科 2年 後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

環境という側面からファッション(衣服)を取り上げて、製造される過程や使用時、廃棄の際に環境へどのような影響を与えているのかを考えていきます。

到達目標(学修成果)

ファッション(衣服)と環境について、生産者側と消費者側の両方の立場に立って自分なりの考えを持ち、意見を共有して他者の意見から様々な考え方や見方について学び、自分の考えを深めることを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は服飾文化学科の必修科目で卒業要件科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業内提出物は次の授業内でフィードバックします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし。必要に応じて資料を配布します。

参考文献

授業時に紹介します。

オフィスアワー・研究室

出講日：火曜日

質問等は授業の前後に受け付けます。メールアドレスは初回授業でお知らせします。

備考

受講者数や授業の進捗により授業計画が変更となる場合もあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 和田	ガイダンス 環境とは	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、整理する。	30分
2回 和田	SDGsとファッション(1)	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、整理する。	30分
3回 和田	SDGsとファッション(2)	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、小レポート作成の準備をする。	45分
4回 和田	SDGsとファッション(3)	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、小レポートを作成する。	60分
5回 和田	SDGsとファッション(4)小レポートの発表	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、整理する。	30分
6回 和田	衣服の原材料の面から環境を考える(1)	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、整理する。	30分
7回 和田	衣服の原材料の面から環境を考える(2)	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、整理する。	30分
8回 和田	衣服の生産と環境(1)	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、整理する。	30分
9回 和田	衣服の生産と環境(2)	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、整理する。	30分
10回 和田	生産者側から環境とファッションを考える	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、整理する。	30分
11回 和田	衣服の着用と環境への影響	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、整理する。	30分
12回 和田	消費者として環境とファッションを考える(1)	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、整理する。	30分
13回 和田	消費者として環境とファッションを考える(2)環境ミニディベート	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、小レポート作成の準備をする。	45分
14回 和田	消費者として環境とファッションを考える(3)	復習：授業で取り上げた内容をふり返り、プレゼンに向けての準備をする。	60分
15回 和田	「ファッションと環境」小レポート発表、まとめ	これまでの授業をふり返る。	60分

ユニバーサルファッション論

笹崎 綾野、柊 伸江

服飾文化学科 2年 後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

ユニバーサルファッションとは、年齢や性別、体型、身体機能、障害等にかかわらず、すべての生活者がファッションを楽しめる社会づくりを目指した概念である。社会やライフスタイルの変化に伴い、ファッションへのニーズが多様化する中、より多くの生活者が快適な衣生活を実現できるファッション市場の形成が求められている。本科目では、体型特性と衣服の関係性、文化やTP0に応じた人と衣服の関係性、実務経験を基にしたデザインによる障害者支援の事例など、ユニバーサルファッションについて幅広く講義する。

到達目標（学修成果）

- ・「ユニバーサルファッションの基礎知識」を得るため、高齢者や障害者の身体特性や生活行動を理解し、ユニバーサルファッション（衣服）の工夫として提案できる。
- ・障害者支援に関する知見を拡げるため、社会やファッション産業の課題を発見し、障害者支援におけるデザインの可能性について説明できる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾文化学科必修の講義科目である。服飾文化に係る幅広い知見を得ることを目指している。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

第3回授業、第15回授業にて課題の振り返りを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

必要に応じて、プリントを配布する。

参考文献

見寺貞子・笹崎綾野『ユニバーサルファッション おしゃれは心と身体のビタミン剤』織研新聞社 2020

オフィスアワー・研究室

教務課、講師控室

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 笹崎	オリエンテーション/ユニバーサルファッションとは	復習；ユニバーサルファッションの理念と7原則の確認	60分
2回 笹崎	高齢者・障害者の体型特性と衣服設計	復習；高齢者・障害者ファッションの事例収集	90分
3回 笹崎	ユニバーサルファッションの工夫【課題A】	予習；【課題A】についてまとめる	120分
4回 柊	高齢者・障害者の精神特性とファッション事情	復習；高齢者・障害者の特性についてまとめる	60分
5回 柊	高齢者・障害者支援とファッション	復習；身の回りの事例を考察する	60分
6回 柊	障害児や特別な支援が必要な方の特性とファッション事情	復習；障害児や特別な支援が必要な方の特性についてまとめる	60分
7回 柊	リメイクとユニバーサルファッション	復習；リメイクの事例収集	60分
8回 柊	ファッション産業のユニバーサルデザイン（企画）	復習；企画の流れについて確認	60分
9回 柊	ファッション産業のユニバーサルデザイン（製造）	復習；製造の流れについて確認	60分
10回 柊	ファッション産業のユニバーサルデザイン（販売）	復習；販売の流れについて確認	60分
11回 柊	文化やTP0に合わせたユニバーサルファッション	復習；文化やTP0に合わせたユニバーサルファッションの事例収集	60分
12回 柊	アーティストとユニバーサルファッション	復習；授業内容について確認し、どんなメッセージが込められているか考える	60分
13回 柊	異分野×ユニバーサルファッション	予習；どんな分野でユニバーサルファッションの事例があるか調べる	60分
14回 柊	【課題B】発表	予習；【課題B】についてまとめる	120分
15回 柊	【課題B】発表の振り返りとディスカッション、授業のまとめ	予習；【課題B】の内容を復習する	30分

現代ファッション論

鈴木 桜子

服飾文化学科 2年 後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

「ファッションとは何か？」この問いに答えるのは容易ではありません。ファッションは私たちにとって最も身近な存在でありながら、個人と社会、歴史、文化、思想等のあらゆる領域と複雑に絡み合いながら現在に至っています。

本授業では、衣服と直接的な身体との関係、社会現象としての流行とメディアとの関係、様々な視点からファッションの現在の意味を問う展覧会に焦点をあて、「ファッション」について深く考えて行くことを方針としています。本授業は、ディスカッション、学生同士の相互評価、プレゼンテーションによるアクティブラーニングを重視します。

到達目標(学修成果)

「ファッション」について、ディスカッションを通して自らのファッション論を導き出すことを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は2年次の必修科目であり、卒業要件科目です。ファッションに関する多角的な視点を持ちながら専門性を高めていくための科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

ディスカッション時のレポート、プレゼンテーションは、受講者同士で評価をし、フィードバックしていきます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

毎回プリントを配布します。

参考文献

授業内で紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

備考

沢山の服飾関連の授業を受講している皆さんにとって大事なことは、時に立ち止まり、物事を深く考える時間を持つことです。現在、ファッションについて社会学や哲学の立場から論じられている書物が数多く出版されています。それらをヒントに日頃からファッションについて深く考えてみましょう。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 鈴木	「ファッション」を考える なぜ衣服を着るのか	予習：シラバスの確認	30分
2回 鈴木	・ファッションと身体 コルセット	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
3回 鈴木	化粧	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
4回 鈴木	女性の服・男性の服	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
5回 鈴木	ディスカッション	予習：ディスカッションの準備	100分
6回 鈴木	レポートの評価	復習：レポート評価の振返り	30分
7回 鈴木	・ファッションとメディア ファッション写真	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
8回 鈴木	ファッション雑誌	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
9回 鈴木	かわいい世界	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
10回 鈴木	ディスカッション	予習：ディスカッションの準備	100分
11回 鈴木	レポートの評価	復習：レポート評価の振返り	30分
12回 鈴木	・ファッションと展覧会 「ラグジュアリー：ファッションの欲望」展	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
13回 鈴木	「SUKIN+BONES:1980年代以降の建築とファッション」展	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
14回 鈴木	「○○○○○」展	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
15回 鈴木	プレゼンテーションと評価	予習：プレゼンテーションの準備	100分

マーケティング・データサイエンス論

田中 康寛

服飾文化学科 2年 後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

現在企業は、経営をはじめ、すべての業務をデータから得られることで、次フェーズに進んでいると言っても過言ではありません。それは事業の予見精度向上、新たな事業への展開の支援など様々なことに使っています。そのような環境の中で、社会を歩んでいくためには、データをいかに利活用するか、はたまた生成AIが登場してから、瞬く間にデータ利活用の主役になっていて、その生成AIを理解していくことは、ビジネスに関係する以上は必須となります。データサイエンスとAIを理解し、自分でどのように利活用できるかなど考えることは必須です。それらを体感できることを目指します。

到達目標(学修成果)

データサイエンス、AIなどに関して、自分の言葉で説明できるようになること。そして企業経営にどのように役立つのかを考えていきます。その中から自分のアイデアを整理します。そのプロセスがいかに重要かを感ぜられるようにします。重要なことは自分の考えで、自分の言葉でそのアイデアを説明できることです。そのためには各種ツールなどが使えることが目的でなく、いかに利活用するか、そして、仮にAIが出してきた事項も、すべて人間が判断し決済していくという最も重要な点も体感します。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

当講義は、必須科目となります。内容は暗記中心ではなく「考える」を中心に行っていきます。そのためディスカッションや講義の中での発言など、自分の言葉で考えていくことが重要です。その延長線にテストも存在します。テストも、自分の考えを表現してもらおう形態となります。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

テストに関しては各自に添削して返却をします。もちろん全体の解説を行います

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	15%
外部評価・検定試験結果	5%

教科書

データ思考が未来を変える 織研新聞社 基礎的なことは、この教科書を予習復習に活用してください。適宜資料を配布します。

参考文献

必要に応じて、紹介をしていきます

オフィスアワー・研究室

講師控室に在籍します

備考

この講義で学ぶことは、とても変化が激しいです。常に、自分のアンテナを張り情報を取得するようにしてください、予習復習の時間はそれほど長い時間としていませんが、アンテナをはり情報を得るということ意識してください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 田中	オリエンテーション 講義の進め方を説明します データサイエンスとは何を説明します	講義の進め方は意識できるように理解、データサイエンスは何かを自分で説明できるように。	40分
2回 田中	データサイエンスのビジネス上での重要性を説明します	事例も含めて説明されたことを整理し、自分であればアイデアを創出してみます	50分
3回 田中	DX(データサイエンスが中核)を説明します。DXにおいてデータサイエンスが重要かを考えていきます	DXとは何かを説明できるようにします	50分
4回 田中	統計について学びます 基礎的な内容になりますが、データを見るスタート地点煮立てることを目標とします	統計の基本を思い出します	45分
5回 田中	AIとは何かを説明します。さらにその使い方を説明します	AIの使い方を整理し、AIを使うアイデアを考えます	55分
6回 田中	AIの活用事例を説明します	前週考えたアイデアをもとに加えていきます	45分
7回 田中	実習: 統計概論 基本的なことをExcelを使いながら理解します	学んだ事項を整理します	40分
8回 田中	実習: Excelを使って回分析などを行います	回帰分析の意味を理解します	50分
9回 田中	実習: AIの基本的な使い方を学びます	どのようことができたかを確認します	50分
10回 田中	実習: AIを使います。実際に企業で使っているような例題を行います	AIが出してきた結果をどのように考えたかを整理します	45分
11回 田中	アパレルメーカーの販売データを見ながら、グループディスカッションを行います。	内容を整理します	55分
12回 田中	11回で使ったデータをもとに、さらに必要なデータ項目などディスカッションし発表をします	ディスカッションで出てきたデータ項目や意見を整理します	40分
13回 田中	データの種類と収集の方法をIoTなどを中心に説明します 2回目テスト	各種データを整理します。何に使えるのかも含め整理します	60分
14回 田中	データサイエンス、AIを利活用する上で、気をつけるべきこと	気をつけるべきことを整理します。当校でのAIを使う場合の倫理規定を熟読します	50分
15回 田中	まとめ 必ず覚えてほしいことを再度話します	全体を通じて覚えるべきことを復習します	60分

画像設計演習

白木 ゆみ香

服飾文化学科 2年 前期 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

画像設計演習での使用ソフトは、Photoshop、4D-BOX (素材設計)、Power Pointの計3つです。それぞれのソフトの基本操作や特徴を学び、実際に作品を制作しながら技法を習得し、表現力の拡大を図ります。

到達目標 (学修成果)

それぞれのソフトを活用し、連動させながら、デザイン考案やプレゼンテーションが出来る技術を身につけることを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この教科は、専門選択科目で卒業要件科目の単位となります。専門コースに拘らず選択することが出来、ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

- ・ 作品課題の提出は、PC関係はデスクトップ上の配布提出BOXへデータでの提出。
- ・ 指定された日時までに提出のこと。元データは各自で保存しているため、返却はなし。
- ・ 試験はなし。 ・ プレゼンテーションにて発表の際に講評あり。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

必要に応じてデジタルテキストや資料配布。
Fashion Ruler (教材) は各自購買部にて購入してください。

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

【前期】木 15:30~17:00 【後期】木 15:30~17:00

【研究室】デザインCG研究室 (研究棟 1F)

備考

進捗により、日程および内容の変更あり。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 白木	オリエンテーション 4D-BOX (素材設計) ・ 基本操作 ボルカ	予習：シラバスを読む。 復習：ノートの整理。	30分
2回 白木	4D-BOX (素材設計) 基本操作 ストライプ、MIX	復習：ノートの整理。	30分
3回 白木	4D-BOX (素材設計) 基本操作 織り柄	復習：ノートの整理。	30分
4回 白木	ブランド立案に向けてのデザイン出し	予習：図書館・インターネットにて資料収集。	30分
5回 白木	ブランド立案に向けてのデザイン出し ハンガーイラスト4体以上。	復習：ノートの整理。	30分
6回 白木	ブランド立案に向けてのデザイン出し ハンガーイラスト4体以上。	復習：ノートの整理。	30分
7回 白木	Photoshop 作成した絵型に、4D-BOXで作成した柄や素材をのせる	復習：ノートの整理。	30分
8回 白木	Photoshop 作成した絵型に、4D-BOXで作成した柄や素材をのせる	復習：ノートの整理。	30分
9回 白木	Photoshop 作成した絵型に、4D-BOXで作成した柄や素材をのせる	復習：ノートの整理。	30分
10回 白木	Photoshop 絵型の色や柄のバリエーションを作成。	復習：ノートの整理。	30分
11回 白木	Power Point 絵型のレイアウト、画像作成。	復習：ノートの整理。	30分
12回 白木	Photoshop テキストのレイアウト、画像作成。	復習：ノートの整理。	30分
13回 白木	Power Point プレゼン資料作成。	予習：資料準備。	30分
14回 白木	Power Point プレゼン資料作成。	予習：資料準備。	30分
15回 白木	Power Point 各自の作品をプレゼンテーション。講評。	予習：プレゼン準備。	30分

写真表現演習

中野 希大

服飾文化学科 2年 後期 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

写真は誰でも撮ることができますが、思い通りの表現をするにはカメラのコントロールができなければなりません。またコンピュータによるフォトタッチの技術は、クリエイターの自由な世界観を具体的にイメージ化することを可能にしました。この授業では撮影とフォトタッチの基本技術を、実践的な演習を通して学びます。

到達目標(学修成果)

カメラの仕組みを理解し、目的に合わせてコントロールして撮影できるようになる。
Photoshop、Illustrator の基本的な操作方法とフォトタッチ技術を修得する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、選択科目です。服飾表現において、イメージ発信者の基礎知識として生きる科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業の質問については、学内システムやメールを活用します。提出課題については、授業内講評によってコメントを返します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

特に指定しない。

参考文献

写真の教科書、Photoshop、Illustratorの入門書など、各自のスキルに合わせて持っているといよい。

オフィスアワー・研究室

授業後30分ほど、表現演習研究室(第3校舎1階)または本校舎1階教務課

備考

カメラを各自で用意してください。ミラーレス一眼レフカメラやデジタル一眼レフカメラを推奨します。標準ズームレンズが望ましいです。この授業では誰かに借りても構いませんが、第2回から必ず使用するので準備しておいてください。カメラ購入についての相談は初回授業時に受け付けます。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 中野	Introduction オリエンテーション	復習: レポートの内容を考える。カメラの準備をする。	60分
2回 中野	Theme1 焦点距離 1	復習: 焦点距離によるイメージの違いの確認、カメラ操作に慣れておく。	60分
3回 中野	Theme1 焦点距離 2	復習: 焦点距離を理解して応用課題に取り組む。	60分
4回 中野	Theme2 シャッター速度、絞り、ISO感度 1	復習: 露出決定メカニズムの理解とカメラ操作に慣れておく。	60分
5回 中野	Theme2 シャッター速度、絞り、ISO感度 2	復習: 露出を意識した応用課題の撮影に取り組む。	60分
6回 中野	Theme3 露出補正、ホワイトバランス 1	復習: 光を意識した露出や色の理解、カメラ操作に慣れておく。	60分
7回 中野	Theme3 露出補正、ホワイトバランス 2	復習: 光と色を意識した応用課題の撮影に取り組む。	60分
8回 中野	Theme4 スチルライフ 演出された写真 1	予習: スチルライフの課題に必要な素材を準備する。	60分
9回 中野	Theme4 スチルライフ 演出された写真 2	復習: テーマを決めて応用課題の撮影に取り組む。	60分
10回 中野	Theme5 レタッチ Photoshop演習 1	予習: 課題に使用する写真素材を準備する。	60分
11回 中野	Theme5 レタッチ Photoshop演習 2	復習: 各自のイメージに合わせた画像制作に取り組む。	60分
12回 中野	Theme5 レタッチ Photoshop演習 3	予習: 課題の仕上げに取り組む。	60分
13回 中野	Theme6 スタジオライティング 1	復習: ライティングによるイメージの変化を確認し、光の効果を理解する。	60分
14回 中野	Theme6 スタジオライティング 2	復習: 撮影した写真の違いを確認し、レイアウトに取り組む。	60分
15回 中野	まとめ・提出	予習: 全ての課題を整理し、提出の準備をしておく。	60分

立体造形演習

大塚 武司

服飾文化学科 2年 後期 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

ファッションに関わるクリエイティブな現場では立体造形力が役に立ちます。その力を磨くため自然物の観察と自分なりの美しさを考察します。この授業では金属工芸・彫刻の作品を制作、個展やグループ展で発表、また一般企業でもプロダクトデザイナーや店頭ディスプレイ企画/商品企画などの業務を通じ、立体造形制作の実績のある教員がその経験を生かし授業を実施します。

到達目標 (学修成果)

この科目の目的を達成すれば、立体造形への理解とオリジナル性の高い造形能力を身に付けることができます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー (学位授与の方針) については、ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

講評会にて各々の作品についてディスカッション、講師からのコメントをフィードバックします。講評会終了後に作品を提出/採点。翌週の授業で返却します。ただし最終の課題に関しては翌週返却が出来ないため講評会前に採点をします。授業時間以外の質問にはEメールにて受付ます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

必要に応じて資料を配布します。

参考文献

授業内にて適宜紹介します。

オフィスアワー・研究室

授業前後は3 4 1 3または講師控室。それ以外の時間は教務まで連絡してください。

備考

必要な材料や筆記用具・制作用具・画材などは各自で用意していただきます。ただし課題の水粘土とそれに使用する用具は講師が用意します。授業内容は進度により変更することがあります。

定員：演習授業につき最大で25名程度とし、大幅に超える場合は調整することもあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 大塚	授業内容についてのガイダンスと小演習。	予習：本授業内容の確認	30分
2回 大塚	課題 ケント紙を用いた美しい陰影のレリーフ作品 / プランニング・制作開始。	予習：課題に向けての準備 復習：造形素材の特性の確認	30分
3回 大塚	課題 作品制作。	予習：作品の問題点の考察 復習：完成に向けての改善点の考察	30分
4回 大塚	課題 作品完成 / 講評会。プレゼンテーションと学生間でのディスカッション、講師による講評。	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容の確認	30分
5回 大塚	課題 主に紙素材を用いた自然物 (野菜や果物) の立体作品演習。プランニング・制作開始。	予習：課題に向けての準備 復習：モチーフの観察	30分
6回 大塚	課題 作品制作 (大まかな造形の完了)	予習：表現技法とモチーフとの関係の再考 復習：作品制作過程 (段取り) の確認	30分
7回 大塚	課題 作品制作 (完成に向けてのブラッシュアップ)	予習：作品の問題点の考察 復習：完成に向けての改善点の考察	30分
8回 大塚	課題 作品完成 / 講評会。プレゼンテーションと学生間でのディスカッション、講師による講評。	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容の確認	30分
9回 大塚	課題 スチレンボードの積層による立体造形の演習 / 制作。	予習：課題に向けての準備 復習：アイデアバリエーションの確認	30分
10回 大塚	課題 作品制作 (大まかな造形の完了)	予習：作品制作過程 (段取り) の検討 復習：作品制作過程 (段取り) の確認	30分
11回 大塚	課題 作品制作 (完成に向けてのブラッシュアップ)	予習：作品の問題点の考察 復習：完成に向けての改善点の考察	30分
12回 大塚	課題 作品完成 / 講評会。プレゼンテーションと学生間でのディスカッション、講師による講評。	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容の確認	30分
13回 大塚	課題 アルミ針金を用いた造形演習 / 制作開始。(自然物の観察として一輪の花を制作)	予習：モチーフとなる花の選定 復習：アルミ針金を扱う方法	30分
14回 大塚	課題 作品制作 (自然の造形美の表現や法則性の発見)	予習：観察した内容の復習 復習：完成に向けての改善点の考察	30分
15回 大塚	課題 作品完成 / 講評会。プレゼンテーションと学生間でのディスカッション、講師による講評。立体造形のまとめ。	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容と全授業内容の確認	30分

和服構成論・実習

平塚 由美子

服飾文化学科 2年 前期 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

日本の伝統衣装である和服(平面構成)の形状を理解し、手縫いによる大裁ちひとえ長着であるゆかたの製作過程でその技法を知りTP0を身につけることで、伝統文化の継承力を養うことができる。

到達目標(学修成果)

和服(きもの)の裁縫を学び進めていく為の総ての手縫いを学び正確に美しく縫う技法を習得することができる。
和装のマナーを学び多種類の着物を学ぶ中で素晴らしい日本の伝統工芸に触れることができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目であり卒業要件単位となる。服飾造形の基礎力をもとに和服に関する知識と技術の向上に資する科目である

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

前期授業の感想と、確認テストの解答は最終日に行う。いつでも質問出来るようメールを繋いでいる。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

やさしい和裁 清水とき著 株式会社 日本ヴォーグ社

参考文献

作成した詳細の製作手順資料を使用

オフィスアワー・研究室

連絡先: 教務課(本館1階) 出講日 火曜日

備考

実習 は実習 (前期の授業)を終了していること

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 平塚	オリエンテーション 和服の基礎と特徴 各名称の説明 大裁ちひとえ長着(ゆかた)の製作についての説明	教科書・裁縫道具の準備(購買部など)	30分
2回 平塚	年間授業計画、裁縫道具の説明 運針についての説明 基礎縫いの準備と実習	ゆかた地の準備(購買部で販売) 教科書 基礎縫いP38~45を読む	30分
3回 平塚	ゆかた地の下準備(水通し・地直し・検品)の説明 教科書・裁縫用具の確認 基礎縫い見本標の製作 次回提出	ゆかたの下準備(水通し・地直し・検品) 基礎縫い見本標の製作	60分
4回 平塚	各自の採寸 寸法表に記入しておく(毎回必ず持参する) ゆかた地の確認と見積もりをする	他者のゆかたなら採寸しておくこと 教科書 寸法P52~53を参照	30分
5回 平塚	各自の寸法で身頃・袖・衿などの確認をし見積もる 後身頃と袖の柄合わせをする 袖の裁断	教科書 裁ち方P54~55を読む そでの作り方はは男女別	30分
6回 平塚	袖の丸みの型を作る 袖のしるし付けの説明 左右の内袖に目印を付ける 袖底の二度縫いをする	教科書 袖の縫い方P56・P60~62 袋縫い・丸みを縫う	30分
7回 平塚	丸みの絞り方と縫い代の綴じ方の説明 袖口の三つ折りぐけをする 両袖の完成 次回両袖提出	両袖を完成させる	60分
8回 平塚	身頃の縫い方の説明 寸法表を基に身頃4枚重ねてしるし 後身頃から前身頃にしっかりしるしをつける	教科書 しるしのつけ方後ろ身頃P79 前身頃P58	30分
9回 平塚	身頃のしるし付けの完成と背縫いの二度縫いの説明 内揚げの説明	背縫い(二度縫い)を完成させる	60分
10回 平塚	背縫い・内揚げの完成を目指す 女物は後ろのみ揚げをするが男物は前後身頃に揚げをする	背縫い・内揚げを完成させる	60分
11回 平塚	脇の縫い方の説明と縫い代のくけ方の説明 縫い代は個人で違うのでくけ方も変わる	教科書 脇縫いP84を読む	30分
12回 平塚	脇縫い・縫い代のくけの完成を目指す	肩当て・いしき当て用の晒を準備する 脇・くけ縫いを完成する	60分
13回 平塚	肩当て・いしき当ての作り方と付け方の説明 次回の確認テストの範囲提示 完成度確認	脇の完成を目指す テストの準備をする ゆかた着付けの準備(予備あり)	60分
14回 平塚	確認テスト ゆかた着付けの講習 各部位の確認しながら着てみよう	ゆかたの着付けの練習をしよう	60分
15回 平塚	前期の纏めとテストの解答と反省 肩当てをつける 衿の柄合わせと衿の部分と切り離す	衿のしるし付けP59を見ておく 夏休み中に遅れを取り戻しておこう	60分

和服構成論・実習

平塚 由美子

服飾文化学科 2年 後期 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

日本の伝統衣装である和服（平面構成）の形状を理解し、手縫いによる大裁ちひとえ長着であるゆかたの製作過程でその技法を知りTP0を身につけることで、伝統文化の継承力を養うことが出来る。

到達目標（学修成果）

和服（きもの）の裁縫を学び進めていく為の総ての手縫いを学び正確に美しく縫う技法を習得することが出来る。
和装のマナーを学び多種類の着物を学ぶ中で素晴らしい日本の伝統工芸に触れることが出来る。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目であり卒業要件単位となる。服飾造形の基礎力をもとに和服に関する知識と技術の向上に資する科目である

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

前期授業の感想と、確認テストの解答は最終日に行う。いつでも質問出来るようメールを繋いでいる。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

やさしい和裁 清水とき著 株式会社 日本ヴォーグ社

参考文献

作成した詳細の製作手順資料を使用

オフィスアワー・研究室

連絡先：教務課（本館1階） 出講日 火曜日

備考

実習 は実習（前期の授業）を終了していること

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 平塚	前期に引続き浴衣の製作 おくみの完成	教科書P67	30分
2回 平塚	おくみの完成と衿下から裾の三折りぐけと額縁の説明	教科書P68-69	30分
3回 平塚	おくみと衿下から裾の三折りぐけの完成	実習予定まで終わらせる	60分
4回 平塚	共衿と本衿の柄合わせとしるしつけをする 共衿を本衿に付ける	教科書P70-71	30分
5回 平塚	しるしと寸法の釣り合いを見て衿を付ける 三衿芯を作る	教科書 P72	30分
6回 平塚	衿を縫い付けたら三衿芯を付けて衿先を作る	教科書 P75	30分
7回 平塚	衿先が両方出来たら本ぐけで衿の形にとじていく	P70-73までを良く読む	60分
8回 平塚	袖付けをする 男物の作り方はP118-126参照 かんぬき留めをする	教科書 P74 P75	30分
9回 平塚	肩当ての始末と 居敷当を付ける 総仕上げをする 着物の本だたみを学ぶ	P64-65 P185	60分
10回 平塚	(着物学) 和服の種類を見てさわって学ぶ講義 第一回 寿の和服	資料参照 毎回レポートを書いておく	60分
11回 平塚	第二回 おしゃれ着、遊び着としての和服	資料参照	30分
12回 平塚	第三回 成人式 卒業式に着る和服 苦しくない着付けられ方や着こなしの注意を学ぶ	資料参照	60分
13回 平塚	第四回 特別な着物 貴重な衣装を見てみよう 確認テストの範囲 次回レポートと寸法表の提出	資料参照 レポートを完成させておく	60分
14回 平塚	確認テスト 自作のゆかた着付けの講習 各部位の確認しながら着てみよう	ゆかたの着付けの練習をしよう 自作の着心地を体験しよう 着物遊びの準備	60分
15回 平塚	テストの解答 私の着物遊び	着物を使って楽しく自分らしい着物遊びをしよう	60分

衣服管理

三代 かおる

服飾文化学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

衣服は着用による汚れを回復させること(洗濯)と製品本来の性能を維持すること(手入れ、保管)を繰り返した後、廃棄あるいはリサイクルされるという一生を送る。本講義では衣服を管理するために必要な洗浄理論や適切な保管方法を中心に学ぶ。市販されている洗濯関連商品と衣服により、実生活と結び付けてイメージしやすいように配慮する。

到達目標(学修成果)

市販の衣料用洗剤の種類や成分表示、衣類の取り扱い絵表示、洗濯機や乾燥機の機能に関心を持ち、衣服に適した洗濯や保管を行うことで、最初のきれいで美しい状態を保持し、長く大切に衣類を扱える方法を身につけることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目であり、服飾造形関係の基礎を学習する科目。卒業要件科目。教職課程履修者は必修科目となる。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

洗剤プリント、レポートを添削返却、解説、また授業内容課題も適宜行い理解度を確認する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

増子富美ほか著 生活科学テキストシリーズ 被服管理学 朝倉書店 2012

参考文献

授業内で適宜紹介する。

オフィスアワー・研究室

前期 水曜日(10:30~10:40)第2校舎小ホール

後期 水曜日(12:10~12:50)第3校舎講師控室

備考

必ず教科書と配布資料を持ってくる。提出物の期日は守ること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 三代	ガイダンス 衣服管理とは 洗濯に関する知識の確認	予習:シラバスを読む。日常で使用している洗剤の確認をする。	30分
2回 三代	衣服の汚れ 衣服の機能との関係	復習:授業資料の確認をし、衣服の機能を理解する。	30分
3回 三代	水と洗剤 硬度成分の影響	復習:教科書を確認をし、硬度成分の影響を理解する。	30分
4回 三代	衣服の洗浄 洗浄に関わる要因	復習:教科書を確認し、洗浄に重要な要素を理解する。	30分
5回 三代	界面活性剤 分類と構造 洗剤プリント提出	予習:家庭で使用している洗剤成分を調べる。	30分
6回 三代	配合剤 種類と作用	復習:教科書を確認し、界面活性剤と配合剤を理解する。	30分
7回 三代	合成洗剤と環境 現在までの変化	復習:教科書を確認し、合成洗剤の変遷を理解する。総復習する。	120分
8回 三代	中間試験	復習:試験問題を振り返る。	30分
9回 三代	洗浄のメカニズム	復習:教科書、配布プリントを参考にして、洗浄作用を理解する。	30分
10回 三代	実験:界面活性剤の作用 レポート提出	予習:界面活性剤の作用を理解しておく。	30分
11回 三代	家庭洗濯	復習:教科書を確認し、洗濯条件を理解する。	30分
12回 三代	商業洗濯	復習:教科書を確認し理解する。	30分
13回 三代	漂白と増白	復習:教科書を確認し、漂白剤の使用法を理解する。	30分
14回 三代	衣服の仕上げと保管	復習:授業内容すべての総復習をして理解を深める。	120分
15回 三代	まとめ 課題(試験やレポート等)フィードバックを行う	復習:試験問題を振り返る。	30分

染色化学

中村 弥生

服飾文化学科 2年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

衣服は染色と加工によって、美しさ、快適さが与えられる。染色化学では、アパレル生産において染色加工がどのように行われるか、その方法としくみを学ぶ。また、消費性能としての染色物の堅牢性、染色加工を含むアパレル生産が地球環境や社会に与える影響について考える。さらに工芸染色の技法等についても学ぶ。

到達目標 (学修成果)

アパレル生産の流れを知る。染色や加工も含めた衣服づくり、染色堅牢性などの消費科学的な性能、染色加工による環境への影響などを考慮した衣服作りができるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目の卒業要件科目。服飾を専門とする学生として必要な染料、染色加工等に関する基礎的な知識の向上に資する科目。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

LMSを使った授業前後のリアクションペーパーの提出により受講生は授業の予習・復習を行い、教員はコメントを返す。学生の疑問が解決できる内容の授業を展開する形でフィードバックを行う。確認テストの返却および解説を行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

使用しない。各回の資料を前週に配信。(授業前に予習すること。)

参考文献

授業内で提示

オフィスアワー・研究室

授業前後は講師控室(第3校舎1階)。それ以外の時間帯は教務課(本校舎1階)を通じて連絡をして下さい。

出講日: 水曜日

備考

第1回目の授業で授業内容や受講に際しての注意などを説明します。必ず出席し、内容を十分理解してから受講して下さい。

授業内試験・課題は全てweb提出となります。情報端末デバイス(PC,スマートフォン等)を用意して下さい。

受講者数、授業進捗状況等により授業内容が多少変更になる場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 中村	オリエンテーション: 授業についての概説(資料映像視聴)	予習: シラバスを読み授業の概要を把握 復習: 授業内容の確認	30分
2回 中村	アパレル生産における染色加工工程 概要・準備工程	予習: アパレル生産の流れを把握 復習: 染色加工前準備工程の確認	30分
3回 中村	アパレル生産における染色加工工程 染色工程・浸染と捺染	予習: 浸染と捺染とは何かを把握 復習: 浸染と捺染の種類、方法を確認	30分
4回 中村	アパレル生産における染色加工工程 仕上げ工程	予習: 仕上げ加工とは何かを把握 復習: 仕上げ加工の種類と方法の確認	30分
5回 中村	2~5回授業の確認テスト	予習: 2~5回授業の資料をまとめる 復習: 確認テストを振り返る	30分
6回 中村	工芸染色	予習: 工芸染色の種類を把握 復習: 工芸染色の技法を確認	30分
7回 中村	工芸染色 (資料映像視聴)	予習: 地元周辺地域の工芸染色を調査 復習: 工芸染色の現状を確認	30分
8回 中村	色素	予習: 色が見えるしくみを把握 復習: 異なる色に見える理由を確認	30分
9回 中村	染まるしくみ	予習: 染まるしくみを把握 復習: なぜ染まるのかを確認	30分
10回 中村	染色条件	予習: 染色条件の種類を把握 復習: 各染色条件による染まり具合を確認	30分
11回 中村	染色物の堅牢性	予習: 堅牢性とは何かを把握 復習: 堅牢性評価の方法と応用を確認	30分
12回 中村	8~11回授業の確認テスト	予習: 8~11回授業の資料をまとめる 復習: 確認テストを振り返る	40分
13回 中村	染色加工による環境への影響	予習: 染色加工の環境への影響を把握 復習: 染色加工の環境への影響を確認	30分
14回 中村	染色加工による環境への影響 (資料映像視聴)	予習: 自分のワードローブを調査 復習: 環境への影響の現状を確認	40分
15回 中村	グループワーク、まとめ	予習: 2~14回授業の資料をまとめる 復習: 授業内容整理	40分

映像制作

千代崎 寛

服飾文化学科 2年 通年(前期) 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

服飾学科と服飾文化学科の2年次以上の学生に開講された3日間(1日=10限)の集中授業です。日野校舎の映像機材とスタジオ環境を最大限に活用したグループワークによる映像作品を制作していきます。制作テーマはフリースタイルですが、事前に CampusMagic を利用したヒアリング・ディスカッションなどで構想を温めていきます。学科やコースなど専門領域を横断した協働制作を通して表現手段としての映像を体験・考察していきます。

到達目標(学修成果)

1. 社会において映像メディアによる表現能力を身に付けることは、どのような領域・分野にも活かせる総合的な能力です
2. 「何を」「どのように」「どうやって」伝えていくのかという命題をたて実証と経過を経験することで有効な情報伝達手段である映像について「知る」ことができます
3. グループワークによる相互の役割とコミュニケーションを通じ映像表現を理解することが可能となります

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目で卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー(学位授与の方針)については「映像制作」はファッション業界を軸にあらゆる分野で活躍できる専門力向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

ディスカッションとノート、プレゼンテーション時の講評などでフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

授業の進行にあわせて、プリントなどで適宜配布します。

オフィスアワー・研究室

集中授業期間：月～金曜日(17:30～18:30)空間構成研究室(日野校舎GENERAL BLOCK 2F)

備考

集中授業期間(3日間)は日野校舎での実習・制作になります。事前に登下校のための交通手段や時間などをリサーチしておいてください。制作は共同作業になるため他の学生と協力して進めていく自覚と目的意識が必要になります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 千代崎	オリエンテーション・映像資料鑑賞 ワークシート ノートについて	予習：映像作品のリサーチ 復習：機材・環境・備品等の使用方法について	60分
2回 千代崎	撮影・編集演習「カメラワーク」「ビデオ編集」	復習：著作権表示・クレジットの表記について	60分
3回 千代崎	グループディスカッション・役割分担・スケジューリング	復習：プライバシー・人権について	60分
4回 千代崎	撮影演習「カメラワーク」ワークシート	復習：作業内容の確認	60分
5回 千代崎	編集演習「ビデオ編集」サウンド・音声・録音	復習：データ整理・管理	55分
6回 千代崎	試写(経過プレゼン)プランニング・ノート制作の経過確認	復習：試写を終ての検討・確認 ワークシート	60分
7回 千代崎	撮影実習 編集実習 ワークシート	復習：作業内容の確認	60分
8回 千代崎	プレゼン(進捗状況)撮影実習 編集実習	復習：スケジュールの再確認	60分
9回 千代崎	試写(グループ単位)撮影実習 編集実習	復習：試写を終ての検討・確認 ワークシート	60分
10回 千代崎	撮影実習 編集実習 ワークシート	復習：作業内容の確認	30分
11回 千代崎	試写(全グループ)撮影実習 編集実習	復習：試写を終ての検討・確認	30分
12回 千代崎	試写(グループ単位)撮影実習 編集実習	復習：試写を終ての検討・確認 ワークシート	60分
13回 千代崎	編集実習 映像作品完成 ワークシート	復習：作業内容の確認	30分
14回 千代崎	作品データ提出 ノート制作・資料作成「象徴的10カット」	復習：データフォーマットについて	30分
15回 千代崎	「上映」プレゼンテーション 講評 まとめ 片付け	復習：ワークシート「制作ノート」提出のための準備	50分

映像制作

千代崎 寛

服飾文化学科 2年 通年(後期) 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

服飾学科と服飾文化学科の2年次以上の学生に開講された3日間(1日=10限)の集中授業です。日野校舎の映像機材とスタジオ環境を最大限に活用したグループワークによる映像作品を制作していきます。制作テーマはフリースタイルですが、事前に CampusMagic を利用したヒアリング・ディスカッションなどで構想を温めていきます。学科やコースなど専門領域を横断した制作を通して表現手段としての映像を体験・考察していきます。

到達目標(学修成果)

1. 社会において映像メディアによる表現能力を身に付けることは、どのような領域・分野にも活かせる総合的な能力です
2. 「何を」「どのように」「どうやって」伝えていくのかという命題をたて実証と経過を経験することで有効な情報伝達手段である映像について「知る」ことができます
3. グループワークによる相互の役割とコミュニケーションを通じ映像表現を理解することが可能となります

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目で卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー(学位授与の方針)については「映像制作」はファッション業界を軸にあらゆる分野で活躍できる専門力向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

ディスカッションとノート、プレゼンテーション時の講評などでフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

授業の進行にあわせて、プリントなどで適宜配布します。

オフィスアワー・研究室

集中授業期間：月～金曜日(17:30～18:30)空間構成研究室(日野校舎GENERAL BLOCK 2F)

備考

集中授業期間(3日間)は日野校舎での実習・制作になります。事前に登下校のための交通手段や時間などをリサーチしておいてください。制作は共同作業になるため他の学生と協力して進めていく自覚と目的意識が必要になります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 千代崎	オリエンテーション・映像資料鑑賞 ワークシート ノートについて	予習：映像作品のリサーチ 復習：機材・環境・備品等の使用方法について	60分
2回 千代崎	撮影・編集演習「カメラワーク」「ビデオ編集」	復習：著作権表示・クレジットの表記について	60分
3回 千代崎	グループディスカッション・役割分担・スケジューリング	復習：プライバシー・人権について	60分
4回 千代崎	撮影演習「カメラワーク」ワークシート	復習：作業内容の確認	60分
5回 千代崎	編集演習「ビデオ編集」サウンド・音声・録音	復習：データ整理・管理	55分
6回 千代崎	試写(経過プレゼン)プランニング・ノート制作の経過確認	復習：試写を終ての検討・確認 ワークシート	60分
7回 千代崎	撮影実習 編集実習 ワークシート	復習：作業内容の確認	60分
8回 千代崎	プレゼン(進捗状況)撮影実習 編集実習	復習：スケジュールの再確認	60分
9回 千代崎	試写(グループ単位)撮影実習 編集実習	復習：試写を終ての検討・確認 ワークシート	60分
10回 千代崎	撮影実習 編集実習 ワークシート	復習：作業内容の確認	30分
11回 千代崎	試写(全グループ)撮影実習 編集実習	復習：試写を終ての検討・確認	30分
12回 千代崎	試写(グループ単位)撮影実習 編集実習	復習：試写を終ての検討・確認 ワークシート	60分
13回 千代崎	編集実習 映像作品完成 ワークシート	復習：作業内容の確認	30分
14回 千代崎	作品データ提出 ノート制作・資料作成「象徴的10カット」	復習：データフォーマットについて	30分
15回 千代崎	「上映」プレゼンテーション 講評 まとめ 片付け	復習：ワークシート「制作ノート」提出のための準備	50分

基礎デザイン（平面）

桐山 征士

服飾文化学科 2年 前期 選択（2単位 演習）

授業の方針・概要

オリジナルの服のデザインを考察し、エスキースのトレーニングを行い、デザイン画を描く授業。
 デザインに不可欠な「思考の密度を上げる」訓練と「独自の視点とその体現」を目指す。
 色彩演習の授業をベースとした、コンセプトに見合った色彩の選択を学ぶ。(バリエーションの出し方を含む)
 ドローイングをベースとした、それぞれ自由な表現スタイルのデザイン画(レンダリング)を学ぶ。
 ニーズ(needs)な商品をデザインと呼ぶ時代は終わっている。ウォンツ(wants)もしくはシーズ(seeds)なデザインを学ぶ。

到達目標（学修成果）

デザインプロセスやコンセプトの構想法を身に着ける。教員とディスカッションすることで、言葉とビジュアルのコミュニケーション能力が養える。

思考の密度が上がる。独自の視点とその体現が可能となる。

積極的にディスカッションすることで、今社会で求められている積極性と忍耐力を育む。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目。全ての造形に関わる授業に必要な構想力・ディスカッション・プレゼンテーション、ドローイングの基礎力を身につける。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業外でも随時相談に乗る。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

適宜資料をデータで配布(留学生が簡単に翻訳できるようにするため。また、紙資源の削減のため)

オフィスアワー・研究室

4006工芸室

備考

15回の授業。

初回から10回までの授業はPC教室にて。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 桐山	美術家兼デザイナーの担当教員による、デザインとアートの違い・デザインプロセスの講義	講義の復習・確認	30分
2回 桐山	既存のブランドテーマの分析	既存のブランドテーマの分析	30分
3回 桐山	各自、ブランドを選んで、テーマの分析・資料作成	既存のブランドテーマの分析	30分
4回 桐山	各自、ブランドを選んで、テーマの分析・資料作成・提出	既存のブランドテーマを仕上げて提出	30分
5回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
6回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
7回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
8回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
9回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
10回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
11回 桐山	エスキース(量) *制作の素案という意味。 デザインのアイデアを描き出し検討するプランニングのこと。	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分
12回 桐山	エスキース(量) ディスカッション。(コンセプトと形状の確認含む)	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分
13回 桐山	エスキース(量) ディスカッション。(コンセプトと形状の確認含む)	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分
14回 桐山	エスキース(量) ディスカッション。(コンセプトと形状の確認含む)	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分
15回 桐山	エスキース(量) ディスカッション。(コンセプトと形状の確認含む)	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分

基礎デザイン（平面）

桐山 征士

服飾文化学科 2年 前期 選択（2単位 演習）

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	
16回 桐山	エスキース(量) ディスカッション。(コンセプトと形状の確認含む)	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分
17回 桐山	エスキース(質) 複数のエスキースからひとつ選び、ブラッシュアップ。	エスキースのブラッシュアップ。	30分
18回 桐山	エスキース(質) 複数のエスキースからひとつ選び、ブラッシュアップ。	エスキースのブラッシュアップ。	30分
19回 桐山	下書き。	下書きの密度を上げる。	30分
20回 桐山	下書き。	下書きの密度を上げる。	30分
21回 桐山	下書き。	下書きの密度を上げる。	30分
22回 桐山	下書き完成。	下書きを仕上げる。 デザイン画に必要な道具の準備。	30分
23回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
24回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
25回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
26回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
27回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
28回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
29回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
30回 桐山	デザイン画を描く。 完成。	デザイン画を完成させ提出。 授業の資料をまとめる。	30分

基礎デザイン（立体）

桐山 征士

服飾文化学科 2年 後期 選択（2単位 演習）

授業の方針・概要

金属を用いたアクセサリーをデザインし、制作する。ただし、金属を加工してアクセサリーをつくるのが目的ではない。「思考の密度を上げる」、「独自の視点とその体現」、デザインのプロセスの理解とコンセプトの構築法の学習が目的である。かっこいい(かわいい)カタチを考えるのがデザイン行為ではない。コンセプトとカタチが合致する根拠を導き出すトレーニングを行う。その思考プロセスをプレゼンテーションできるように、随時ディスカッションのトレーニングを行う。技術は重要ではない。技術は後からついてくるものだ。それが造形的な思考である。足りない技術は教員がカバーする。

到達目標（学修成果）

デザインの思考（「思考の密度」を上げる・「独自の視点とその体現」）を育てる。コンセプトから素材・カタチの根拠を導き、造形する能力を身に付ける。

デザイン(コンセプト・カタチ・素材etc)には根拠が必要であるという意識が身に付く。そのための情報収集や分析、プレゼンテーション能力が養える。A1では身につかない、デザインの本質を体験する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業外でも随時相談に乗る。4006工芸室を開放する。制作補助も行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

4006工芸室

備考

15回の授業。

初回から10回までの授業はPC教室にて。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 桐山	デザインとアートの違い・デザインプロセスの講義(美術家兼デザイナーの担当教員) ジュエリーの講義	講義の復習	30分
2回 桐山	デザインとアートの違い・デザインプロセスの講義(美術家兼デザイナーの担当教員) ジュエリーの講義	講義の復習	30分
3回 桐山	情報収集 幅広い情報を集めイメージの幅を広げる。既成概念の払拭。	情報収集	30分
4回 桐山	情報収集 幅広い情報を集めイメージの幅を広げる。既成概念の払拭。	情報収集	30分
5回 桐山	情報収集 幅広い情報を集めイメージの幅を広げる。既成概念の払拭。	情報収集	30分
6回 桐山	情報収集 幅広い情報を集めイメージの幅を広げる。既成概念の払拭。	情報収集	30分
7回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
8回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
9回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
10回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
11回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
12回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
13回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
14回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
15回 桐山	エスキース仕上げ	エスキース仕上げ	30分

基礎デザイン（立体）

桐山 征士

服飾文化学科 2年 後期 選択（2単位 演習）

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	
16回 桐山	エスキース仕上げ	エスキース仕上げ	30分
17回 桐山	製図	加工工程の確認	30分
18回 桐山	製図	加工工程の確認	30分
19回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して4006で制作 コンセプトの確認	30分
20回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して4006で制作 コンセプトの確認	30分
21回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して4006で制作 コンセプトの確認	30分
22回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して4006で制作 コンセプトの確認	30分
23回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して4006で制作 コンセプトの確認	30分
24回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して4006で制作 コンセプトの確認	30分
25回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して4006で制作 コンセプトの確認	30分
26回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して4006で制作 コンセプトの確認	30分
27回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して4006で制作 コンセプトの確認	30分
28回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して4006で制作 コンセプトの確認	30分
29回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して4006で制作 コンセプトの確認	30分
30回 桐山	制作 金属加工	写真撮影。提出。 資料をまとめる。	120分

ファッション販売論上級

五十嵐 朝美、田中 康寛

服飾文化学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

ファッションビジネスにおける高度な販売技術の論理的な理解と現代的な接客アプローチや接客ホスピタリティ等のプロフェッショナルスキルの学習を実施。グループワークやチームプレゼン等によるアクティブラーニングを通じた相互学習、その他演習形式の現代的接客アプローチ技術の体験型学習を行うハイブリッドで実践型の授業です。尚、本科目は実務経験のある担当教員の長年の知見(販売オペレーション、販売接客、CRM、販売教育、店舗運営等)を活かした授業運営となります。またファッション販売能力検定2級の取得を目指す学習構成にもなっています。

到達目標(学修成果)

ファッション販売能力検定2級のテキストを活用しながら、現代のファッションビジネスに対応できる高度なプロフェッショナルスキルを身に付け、ファッションアドバイザーとなる高度な接客販売技術やコミュニケーション能力や対人対応力や店舗運営技術を習得する事を目指す実践型授業です。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は専門選択科目となります。ディプロマシー(学位授与の方針)については専門コースに関わらず選択する事が出来、ファッション業界で活躍出来る専門力向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

レポートのフィードバックは学校内システムを活用し、個別に送信。成果の確認や課題設定を行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

ファッション販売能力検定試験2級公式テキスト 改訂版(一般財団法人 日本ファッション教育振興協会)

参考文献

適宜示していきます

オフィスアワー・研究室

出講日：第三校舎 4階(3402教室) 授業時間前後30分

備考

- 教科書及び配布資料は必ず毎回持参のこと
- 本科目では消費者目線を通じたファッション販売の在り方やその実践的な解釈を学びます。
- 授業では講義形式による現代的な販売論全般の理解を深めます。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 田中	オリエンテーション、ファッション販売知識 顧客作り、ファッション販売技術	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：配布資料の振り返り	40分
2回 田中	商品関連知識学習、売場づくり 素材、配色(色相とトーン)、副資材、サイズ	予習：教科書の該当箇所確認 復習：配布資料の振り返り	30分
3回 田中	マーケティング関連知識学習 マーチャндаイとマーケティング、オムニチャネル	予習：教科書の該当箇所確認 復習：配布資料の振り返り	30分
4回 田中	店舗関連知識学習 運営管理の基礎、計数管理、コンプライアンス、VMD戦略、	予習：教科書の該当箇所確認 復習：配布資料の振り返り	30分
5回 田中	総合演習・全体の振り返り アクティブラーニング・ディベート	予習：教科書の該当箇所確認 復習：配布資料の振り返り	40分
6回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識実践 笑顔、立ち居振る舞い、言葉遣い...接客演習	予習：教科書の該当箇所確認 復習：配布資料の振り返り	40分
7回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識学習 言葉の引き出し、言葉遣い...接客演習	授業を受けてのレポート作成	30分
8回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識学習・アプローチ 商品のカラー・素材別アプローチ...接客演習	授業を受けてのレポート作成 挨拶トーク作成	30分
9回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識学習・アプローチ ~の振り返り、ニーズ把握、お客様との会話...演習	授業を受けてのレポート作成 ニーズを把握するための質問作成	30分
10回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識学習 ひきつけるプレゼンテーション、アクティブラーニング	授業を受けてのレポート作成 アプローチトーク作成	30分
11回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識学習 商品提案・再提案の仕方、商品知識を高める...演習	授業を受けてのレポート作成	30分
12回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識学習 デメリット質問への対応 、根拠のある商品提案の仕方...演習	授業を受けてのレポート作成 メリット・デメリットの作成	30分
13回 五十嵐	ココロのイロ、販売関連知識学習 4つの行動スタイルを知る、アクティブラーニング	授業を受けて感じたこと、学んだことに対して のレポート作成	30分
14回 五十嵐	販売関連知識学習 現場事例・クレーム対応・接客	授業を受けて感じたこと、学んだことに対して のレポート作成	30分
15回 田/五	総合演習・全体の振り返り アクティブラーニング	授業を受けてのレポート作成 (気づき・チャレンジ目標設定)	40分

色彩実践学

武田 里美

服飾文化学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本授業では、ファッションコンテンツにおいて重要な「色」を多角的に学びます。色彩学として色を捉える、トレンドとの接点を理解する、この2点を中心に、講義・演習により実践で活用できる知識や技能を学習します。日本流行色協会で実務経験を積んだ講師より、色彩の基礎から応用まで網羅し、色彩を活用する手法をお伝えします。必要に応じて検定のポイント学習も行います。

到達目標 (学修成果)

色彩の基本的な知識、色の持つファッション上の役割や機能を理解・習得する事が出来るようになります。配色技法の学習では演習手法も取り入れ、自分で考えながら配色を行うことで、実践に活かせる知識や技能が身につきます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は選択科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業後のミニテスト および ワーク課題の提出、授業内の発表にて評価します。ミニテストの出題・解答はCampus Magicを使用し、解説は次の授業の冒頭に行います。授業の持ち物や連絡も、Campus Magicを使用します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

色彩実践学オリジナルテキスト (¥1,500程度、初回授業で販売します)
JIS対応ペーシックカラー140 B5

参考文献

季刊「流行色」 一般社団法人日本流行色協会

オフィスアワー・研究室

出講日：金曜日 第3校舎講師控室 (第3校舎1階)

備考

授業の進行状況等により、スケジュール及び授業内容が変更される場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 武田	カリキュラムのガイダンス：スケジュール、内容、演習内容 流行色とは、流行色が決まるまで	予習：シラバスの確認 復習：ミニテストへの解答 (Campus Magic)	30分
2回 武田	色はなぜ見えるのか、色と光 (1) : 光の種類、色温度、演色性	予習：テキスト「色と光」確認 復習：ミニテストへの解答 (Campus Magic)	30分
3回 武田	色と光 (2) : 物体色、分光反射率、光の現象と色	予習：テキスト「色と光」確認 復習：ミニテストへの解答 (Campus Magic)	30分
4回 武田	色と眼：目の構造、視細胞、順応、色の見えの変化	予習：テキスト「色と眼」確認 復習：ミニテストへの解答 (Campus Magic)	30分
5回 武田	色の伝達：色の精度、色名、カラーオーダーシステム (マンセルシステム、PCCS)、混色系	予習：テキスト「色の伝達」確認 復習：ミニテストへの解答 (Campus Magic)	30分
6回 武田	混色：加法混色、減法混色、中間混色 色の感情効果 (1) : 錯視、対比、同化	予習：テキスト「混色」「色の感情効果」確認 復習：ミニテストへの解答 (Campus Magic)	30分
7回 武田	色の感情効果 (2) : 面積効果、色の心理的現象、恒常性 色のイメージ：色記憶/記憶色、色の連想	予習：テキスト「色の感情効果・イメージ」確認 復習：ミニテストへの解答 (Campus Magic)	30分
8回 武田	配色1(ワーク)：色相・トーンに基づいた配色、自然な色の見え、配色演習	予習：テキスト「配色」確認 復習：ミニテストへの解答 (Campus Magic)	30分
9回 武田	配色2(ワーク)：一般的な配色技法、配色演習	予習：テキスト「配色」確認 復習：ミニテストへの解答 (Campus Magic)	30分
10回 武田	配色3(ワーク)：身の回りのカラー分析(ワーク)	予習：分析素材の準備 復習：ミニテストへの解答 (Campus Magic)	30分
11回 武田	商品カラーの設計、トレンドカラー解説	予習：テキスト「商品カラーの設計」確認 復習：ミニテストへの解答 (Campus Magic)	30分
12回 武田	カラーパレット制作1(グループワーク)：1年先のカラーパレットを考える	予習：パレット制作の準備(調査・素材準備) 復習：ミニテストへの解答 (Campus Magic)	30分
13回 武田	カラーパレット制作2(グループワーク)：1年先のカラーパレットを考える	予習：パレット制作の準備(調査・素材準備) 復習：ミニテストへの解答 (Campus Magic)	30分
14回 武田	カラーパレット制作3(グループワーク)：1年先のカラーパレットを考える	予習：パレット制作の準備(調査・素材準備) 復習：ミニテストへの解答 (Campus Magic)	30分
15回 武田	カラーパレット制作4(グループワーク)：発表、講師講評 全体の振り返り・まとめ	予習：パレット発表の準備 復習：ミニテストへの解答 (Campus Magic)	30分

色材演習

土屋 純一

服飾文化学科 2年 後期 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

素材の色彩と材質感についての観察、発見、収集、分類、検証、構成を行う。具体的には布素材のみならず、ひろく身の回りの「モノ・コト」に眼を向けたフィールドワークから「オリジナルな色と質の資料」を制作し、平面、立体デザインへと応用する。そして将来「素材からのデザインの提案～展開」が出来る視点や可能性を準備する。

到達目標(学修成果)

造形を行う際の素材の選択や、その特徴を生かした表現方法など色彩と質の構造について理解し、今後の服飾造形表現に応用する素材活用ができるようになる力を養う。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目であり、選択科目である。造形表現における素材の色彩と材質に対する知識と発想力を高める為の授業である。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

各課題終了後に講評を行う。最終作品ファイルは個別講評、採点后に返却する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

進行に合わせて授業内で紹介し、プリントを配布する。

オフィスアワー・研究室

月曜日、火曜日(12時10分～12時50分) 連絡研究室 大学表現演習研究室(第三校舎1階)

備考

毎回、授業で説明した「フィールドワーク」を通して、日頃から素材に対する幅広い考察を行うこと。授業準備を怠ると課題演習ができない。すべての配布プリント及び作品はファイルにまとめて毎回授業に持参すること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 土屋	導入/授業概要。「フィールドワーク」の目的、方法。イメージと素材との関係について。	予習: シラバスの確認 復習: フィールドワークの準備。	30分
2回 土屋	講義/「視覚と触覚/素材と表現」、フィールドワークの確認。	予習: フィールドワークによる素材調査と収集。 復習: 紹介した事柄や作家について。	90分
3回 土屋	演習「サンプリング～資料制作」/収集、分類。素材分析についてのディスカッション。	予習: フィールドワークによる素材収集と分類。 復習: 色彩と質感の分析。	60分
4回 土屋	” /色と材質感。素材分析についてのディスカッション。	予習: フィールドワークによる素材収集と分類。 復習: 色彩と質感の分析。	60分
5回 土屋	” /素材の分類。素材分析についてのディスカッション。	予習: 素材と言葉のイメージの収集。 復習: 色彩と質感の分析。	60分
6回 土屋	” /色とイメージの分類。素材分析についてのディスカッション。	予習: 素材と言葉のイメージの収集。 復習: 色彩と質感の分析。	60分
7回 土屋	演習「サンプリング&リミックス～イメージからの展開」/構造と構成。演習 講評。	予習: 色彩と質感のリサーチ及びフィールドワークによる素材収集。復習: 作家研究。	60分
8回 土屋	” /イメージからの素材の選択、色彩と材質感についての分析。	予習: フィールドワークによる素材収集。復習: 集合体による色彩と質感について。	45分
9回 土屋	” /織りによる平面構成。集合体による色彩と材質感。	予習: フィールドワークによる素材収集。復習: 織の構造について分析。	45分
10回 土屋	演習「サンプリング&リミックス～立体への展開」/イメージの立体構成・質の変化。演習 講評。	予習: フィールドワークによる素材とイメージ画像の収集。復習: 準備課題「質の変化」。	45分
11回 土屋	” /重層構造による立体表現。独自の素材表現方法について。	予習: フィールドワークによる素材とイメージ画像の収集。復習: 素材加工の技法について。	45分
12回 土屋	” /立体的な視点からのデザイン構成について。	予習: フィールドワークによる素材とイメージ画像の収集。復習: 立体構成について。	45分
13回 土屋	演習「サンプリング&リミックス～質のデザイン」/色と材質感の提案。オリジナルな素材表現。演習 講評。	予習: フィールドワークによる素材収集、スクラップ作成。復習: 素材の加工方法について。	60分
14回 土屋	” /デザインのトリミング。重層構造による色彩と質感。	予習: フィールドワークによる素材収集。復習: スクラップ作成。	60分
15回 土屋	まとめ「イメージファイル」/色と質感イメージ。総合講評。	予習: 色彩と質感に関するイメージファイルの完成。復習: 講評を踏まえての自己分析。	45分

服飾手芸（ニットを含む）

岡本 真希子

服飾文化学科 2年 後期 選択（1単位 実験実習）

授業の方針・概要

編物の代表的な三つの技法 かぎ針編み、棒針編み、アフガン編みについて、基礎的な技法を習得します。それぞれの技法に合わせた、作品を作る為に必要な増減法、とじ、はぎ、素材の特徴に合った組み合わせや編み方を学び、作品作りに活かせるように学びます。

到達目標（学修成果）

かぎ針編み、棒針編み、アフガン編みの基礎技法を学び、編めるようになる。編目記号図（JIS記号）を理解する。かぎ針編みでは、モチーフを編む。棒針編みでは、身に着ける作品の制作を進めながら、制作に必要な知識を得る。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題として、かぎ針編みモチーフつなぎ、棒針編みの基礎編みサンプル、アフガン編みの基礎編みサンプル、を提出。添削後、順次返却します。

棒針編みの応用課題作品を提出

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

いちばんよくわかる新・かぎ編みの基礎 / いちばんよくわかる 新・棒針編みの基礎

いちばんよくわかる アフガン編みの本

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

連絡先：教務課 出講日：金曜日

備考

必要に応じてプリントを配布しますので、ファイリングをして常に授業に携帯して下さい。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 岡本	かぎ針編み：針の持ち方，基礎編み（鎖編み，細編み，長編み，等）	復習：その日に習った技法の復習（長編み，細編みが編めるように）	60分
2回 岡本	かぎ針編み：モチーフを作成	復習：その日に習った技法の復習 モチーフ1枚めを完成させる	60分
3回 岡本	かぎ針編み：モチーフをつなぐ	復習：その日に習った技法の復習 モチーフをつなぎ完成させる	60分
4回 岡本	棒針編み：針の持ち方，基礎編み（作り目，表編み，裏編み，伏せ目）	復習：その日に習った技法の復習（表編み，裏編みを練習する）	60分
5回 岡本	棒針編み：基礎編みのサンプル作成（編み込み模様2種類 等）	復習：その日に習った技法の復習 基礎編みのサンプルを編み進める	60分
6回 岡本	棒針編み：基礎編みのサンプル作成（表目と裏目の模様，透かし模様）	復習：その日に習った技法の復習 基礎編みのサンプルを編み進める	60分
7回 岡本	棒針編み：基礎編みのサンプル製作（交差模様，1目ゴム編み，2目ゴム編み 等）	復習：その日に習った技法の復習 基礎編みのサンプルを完成させる	60分
8回 岡本	棒針編み（応用課題作品）：作品制作に向けての説明 とじ・はぎをパターンで練習する	応用課題作品の制作に向けて何を考えるか考えてくる	60分
9回 岡本	アフガン編み：針の持ち方，基礎編み（ブレーンアフガン）	復習：その日に習った技法の復習 応用課題作品の制作に向けて準備する	60分
10回 岡本	アフガン編み：基礎編みのサンプル作成（かのご模様，ねじり目模様 等）	復習：その日に習った技法の復習 応用課題作品の制作に向けて準備する	60分
11回 岡本	棒針編み（応用課題作品）：作品制作に向けての相談	応用課題作品の制作を始める	90分
12回 岡本	棒針編み：応用課題作品を進めながら，提出した基礎編みサンプルの再確認 等	応用課題作品の制作を進める	90分
13回 岡本	棒針編み：応用課題作品を進めながら，提出した基礎編みサンプルの再確認 等	応用課題作品の制作を進める	90分
14回 岡本	棒針編み：応用課題作品 提出	復習：基礎編みサンプルの復習	60分
15回 岡本	まとめ：課題のフィードバックを行う	復習：基礎編みサンプルの復習，とじはぎ仕上げの復習	30分

服飾クラフト

永田 貴恵子

服飾文化学科 2年 前期 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

手芸 (Hand Craft) は、世界各地で古い昔から行われその土地の生活様式に合った特有の色や模様が作り出されて来ました。本授業では様々な刺しゅうの知識を深め、基礎となる刺しゅうの材料 (布・糸・針など) の扱い方や技法を学びます。

到達目標 (学修成果)

フランス刺しゅうやクロスステッチなど様々な刺しゅうを実際に作品を制作しながら基本的な技法が習得出来ます。基礎刺しの名称と刺し方を理解し正しく刺しゅうが出来ることを目標とします。
また、図案を構成し刺しゅう技法を組み合わせる応用力をつけることも目指します。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

選択科目で卒業要件科目となり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

作品返却時にその都度講評をします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業時に適宜プリントを配布します。

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

出講日：金曜日 連絡先：教務課

備考

別途教材費がかかります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 永田	様々な刺しゅうを知る 刺しゅう材料の取り扱い方 図案の写し方 フランス刺しゅう基礎の準備 サンプラーの制作	予習：シラバスを読む 復習：フランス刺しゅう基礎の確認	30分
2回 永田	フランス刺しゅう基礎 アウトラインS バッグS ランニングS チェーンS パリオンS等	復習：アウトラインS バッグS ランニングS チェーンS パリオンS等の確認	30分
3回 永田	フランス刺しゅう基礎 ブランケットS レイジーデージーS フレンチノットS サテンS等	復習：ブランケットS レイジーデージーS フレンチノット サテンS等の確認	30分
4回 永田	ビーズ・スパンコール刺しゅう ビーズ・スパンコール刺しゅうの基礎	復習：ビーズ・スパンコールの確認 予習：自由図案を考える	30分
5回 永田	ミラーワーク、リボン刺しゅう ミラーの留め方 リボン刺しゅうの基礎 自由図案による刺しゅうの制作	復習：ミラーの留め方、リボン刺しゅうの確認	30分
6回 永田	刺しゅうの応用制作 刺しゅうの仕上げ	復習：刺しゅう応用制作のステッチの確認	30分
7回 永田	クロスステッチ ピンクッションの制作 クロスステッチの基礎	復習：フランス刺しゅう基礎の整理 予習：クロスステッチの図案を考える	30分
8回 永田	クロスステッチ クロスステッチの針の動き方 糸の替え方 糸の始末の仕方	復習：クロスステッチの刺し方糸の替え方、糸の始末の仕方の確認	30分
9回 永田	クロスステッチ 仕立て方、とじ方	復習：クロスステッチの仕立て方、とじ方の確認	30分
10回 永田	クロスステッチ 仕上げ	復習：クロスステッチの基礎の整理	30分
11回 永田	スモッキング刺しゅう スモッキングバッグの制作 スモッキング刺しゅうの基礎	復習：スモッキング刺しゅう基礎の確認	30分
12回 永田	スモッキング刺しゅう ダイヤモンドSの刺し方	復習：ダイヤモンドSの確認	30分
13回 永田	スモッキング刺しゅう 糸の替え方、糸の始末の仕方。	復習：糸の替え方、糸の始末の確認	30分
14回 永田	スモッキング刺しゅう 仕上げ方	復習：スモッキング刺しゅうの整理	30分
15回 永田	授業で制作した作品の様々な刺しゅう基礎刺しの確認と刺しゅうの知識を整理する	復習：授業で制作した作品の様々な刺しゅう基礎刺しの確認を行う	30分

服飾デザイン概論

鈴木 桜子

服飾文化学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

「デザイン」は、単に「もの」(服飾)のイメージに合わせて色や形にしていくことではなく、最も重要な目的の一つとして、「もの」を通して人と社会をコーディネートしてあげることがあげられます。そのためには時代を知り、人と社会に関心を持つ姿勢が求められ、どのようなプロセスを通して最終的な素材や色や形にしていくかが問われます。

本授業の方針として、服飾デザインを多角的な視点から捉え、自らの服飾デザイン観が社会とどのように結びついていくのか、理論的・実践的思考を高めてプレゼンテーション、ディスカッションを行っていくアクティブラーニングを重視します。

到達目標(学修成果)

服飾デザインについて、自らの見識を持ち、デザインコンセプトを構築していく姿勢が持てるようになることを到達目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は専門選択科目として卒業要件科目にあたります。服のデザイン・考え方・プレゼンに必要な技術等が修得できます。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

ディスカッション、プレゼンテーションについては受講生双方で評価を行い、フィードバックしていきます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

毎回プリントを配布します。

参考文献

必要に応じて授業内で紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

備考

進度により、日程及び内容は変更することがあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 鈴木	オリエンテーション デザインとは何か?なぜ、服をデザインするのか?	予習: シラバスの確認	30分
2回 鈴木	身近なものをデザインする	復習: 身近なものをデザインする	30分
3回 鈴木	衣服をデザインする	復習: 衣服デザインについて考える	30分
4回 鈴木	. 時代と社会に向き合うデザイン	復習: 時代・社会に向けた衣服の在り方を考える	30分
5回 鈴木	"	復習: 時代・社会に向けた衣服の在り方を考える	30分
6回 鈴木	. 歴史と文化に向き合うデザイン	復習: 歴史の衣服に目を向けてみる	30分
7回 鈴木	"	復習: 歴史の衣服に目を向けてみる	30分
8回 鈴木	. デザイナーの仕事	復習: デザイン の仕事を考える	30分
9回 鈴木	ディスカッション	予習: これまでの授業を振り返り、ディスカッションに備える	30分
10回 鈴木	プレゼン+ポートフォリオ課題に向けて	復習: プレゼン、ポートフォリオの準備を始める	30分
11回 鈴木	. 装飾の功罪	復習: 装飾の在り方について考える	30分
12回 鈴木	. 構造とフォルム	復習: 構造とフォルムの関係を調べる	30分
13回 鈴木	. 色彩・素材・技術	復習: デザイン要素を総合的に捉える	30分
14回 鈴木	プレゼンテーションとディスカッション (ポートフォリオ提出)	予習: プレゼンの準備	60分
15回 鈴木	まとめと評価	復習: 講評を受けて自分の作品を振り返る	30分

デザインプロセス

肉丸 美香子

服飾文化学科 2年 前期 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

デザインするということはアイデアやその概念を視覚可能な具体的な用途を持った形にするプロセスである。デザインは色や形により視覚的な美しさや魅力を追求すると共に、ユーザーのニーズや欲求を満たす機能的な要素を考慮することは極めて重要である。その為には、創造性、派生するさまざまな問題を解決する能力なども必要となる。ここではファッションプロダクト製品の中からアイテムを決めムードボードの作成など、より高いレベルのデザインを生み出す方法を学ぶ。まずはアイデアスケッチやワイヤーフレームなどを作成しながらデザインの方向性を確認する。各段階を踏まえ効率的にデザインプロセスを進めていく。

到達目標 (学修成果)

プロセスを踏まえてデザインしていくことにより、計画的なデザインを考えていく力が可能になる。そして自らの考えを他者に伝えるコミュニケーション能力、プレゼンテーション力が大きく飛躍する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッションプロダクトデザインコースの必修科目で卒業要件単位となる。ディプロマポリシーについては、専門教育課程の科目で服飾造形の基礎力を基に専門職として広く社会に受け入れられる人材の育成を目標とする科目である。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内で必ずフィードバックを行う

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

適宜プリントを配布

参考文献

授業内で紹介する

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：金曜日 13:00～14:00

【連絡研究室】ファッションプロダクトデザイン研究室(第三校舎4階 3409)

備考

東京レザーフェア、ファッション雑貨フェアなど、各種展示会については授業の中で紹介をする

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 肉丸	ガイダンス デザインプロセスの概要と重要性について デザイン画の描き方 (バッグ)	(復習)バッグのデザインスケッチ	30分
2回 肉丸	<テーマとコンセプトについて> デザイン画の描き方 (帽子)	(復習)帽子のデザインスケッチ	30分
3回 肉丸	テーマとコンセプトの設定について ディスカッション ・テーマの選定(ファッショングッズの中から)	(予習)店頭リサーチをしてくる	60分
4回 肉丸	コンセプトの作成(テーマをもとに自由にアイデア出す) ディスカッション	(予習)店頭リサーチをしてくる	60分
5回 肉丸	コンセプトの作成(テーマをもとに自由にアイデア出す) ディスカッション	(予習)店頭リサーチをしてくる	60分
6回 肉丸	コンセプトをわかりやすく伝えるためのスケッチ デザインスケッチ ディスカッション	(予習)スケッチ案を進めてくる	60分
7回 肉丸	コンセプトをわかりやすく伝えるためのスケッチ デザインスケッチ ディスカッション	(予習)モデル作成を進めてくる	60分
8回 肉丸	コンセプトをわかりやすく伝えるためのスケッチ デザインスケッチ ディスカッション	(復習)時間内に終わらなかったモデルを作成する	60分
9回 肉丸	プレゼンテーションの準備 PowerPoint	(予習)プレゼンテーション案を考えてくる	60分
10回 肉丸	プレゼンテーションの準備 PowerPoint	(予習)プレゼンテーションの作成	60分
11回 肉丸	プレゼンテーション PowerPoint フィードバック	(予習)自由課題のテーマ・コンセプトを進めてくる	60分
12回 肉丸	自由課題 ポートフォリオの作成 テーマ・コンセプト ディスカッション	(予習)自由課題のテーマ・コンセプトを進めてくる	60分
13回 肉丸	自由課題 ポートフォリオの作成 テーマ・コンセプト ディスカッション	(予習)自由課題のテーマ・コンセプトを進めてくる	60分
14回 肉丸	自由課題 ポートフォリオの作成	(予習)自由課題のテーマ・コンセプトを進めてくる	60分
15回 肉丸	プレゼンテーション ポートフォリオの提出 フィードバック PowerPoint	(復習)作品を振り返る	60分

消費者行動論

山中 健

服飾文化学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

消費者行動に関わる基本的な概念を紹介するとともに、消費者行動の諸理論をマーケティング活動へ展開する実践方法について講師が具体的に示します。それらの手法を理解し、活用できるようになることを本講義の方針とします。

到達目標 (学修成果)

消費者行動の基本的な概念を把握 (消費者ニーズ・買い物行動・購買意思決定等)
消費者行動に基づくマーケティング活動への展開方法を把握

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目の単位となります。ファッションビジネス系学生の共通必修で、ファッションビジネスを理解し、応用する理論の基礎力向上に資する科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内試験については、解説付きの正答を配布します。最終プレゼンテーションについては口頭フィードバックを致します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

配布PDF

参考文献

なし。

オフィスアワー・研究室

研究室での待機はしておりませんので、ご質問・ご相談はメールにてご連絡ください。

備考

なし。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 山中	ガイダンス・ファッションと消費者行動の概要	資料を読み復習する	30分
2回 山中	ファッション消費における自己表現とアイデンティティ	資料を読み復習する	30分
3回 山中	トレンド発生モデルと事例	資料を読み復習する	30分
4回 山中	日本における消費者意識と変化	資料を読み復習する	30分
5回 山中	ウェルビーイングと消費者行動の変化	資料を読み復習する	30分
6回 山中	DXと消費者意識の変化	資料を読み復習する	30分
7回 山中	グローバル分断と消費者意識の変化	資料を読み復習する	30分
8回 山中	ラグジュアリーマーケットでの事例研究	資料を読み復習する	30分
9回 山中	ミッドマーケットでの事例研究	資料を読み復習する	30分
10回 山中	スリフトマーケットでの事例研究	資料を読み復習する	30分
11回 山中	事例研究まとめ	資料を読み復習する	30分
12回 山中	ワークショップ 自世代インサイト マイクロトレンド	グループ別プレゼンテーションに向けた準備	50分
13回 山中	ワークショップ 自世代インサイト ウェルビーイング	グループ別プレゼンテーションに向けた準備	60分
14回 山中	ワークショップ 自世代インサイト DX	グループ別プレゼンテーションに向けた準備	50分
15回 山中	グループ別プレゼンテーション	講師のフィードバックを確認する	30分

グローバルマネジメント論

田中 康寛

服飾文化学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

この講座では、グローバル経営を「データを意思決定の設計問題」として、捉えて進めていきます。なぜならば国内経営との最大の違いは不確実性の大きさと考えているからです。そのために、AIとデータがいかに必要か、どのように活用するかを説明していきます。

到達目標(学修成果)

グローバル経営、国内経営を加えて考えをまとめていきます。そして、未来の経営像を各自が想定することを目標にします。各自の言葉で作り上げるようにします

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この講座は、新たな考え方も含め、斬新な考え方を多く含めながら、学んでいきます。そのため、講義内で発言をすることで理解の深める、復習に多くの時間を割き、理解を深めることが重要です。平常時試験もその延長線上に存在します。特に自分の言葉で説明できることを常に意識していきます。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

試験に関して全体でのレクチャーと個人へのレクチャーを行います

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	10%

教科書

毎回資料を送付します。それをもとに講義を行います。

参考文献

国際経営 第5版 有斐閣アルマ
 ホワイトカーの人材育成 東洋経済
 オフィスアワー・研究室
 講師控室に在籍

備考

常に学んだことを自分の言葉で説明できるようにします。暗記すべき事項もありますが、各自の言葉で説明する、そのための理解を行うことを第一に予習復習などを行うようにします。また、講義内のみならず、普段の経済記事なども意識してみるようにします。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 田中	グローバル経営とは何か	今国内経営ではダメかを整理	85分
2回 田中	世界市場の構造	経済圏を整理	50分
3回 田中	多国籍企業のビジネスモデル UNIQLO、Apple、AMAZONを例とします	講義での3社のビジネスモデルを整理	60分
4回 田中	文化と組織の違い	日本企業が海外で失敗する要素を理解	50分
5回 田中	グローバル戦略の基本	集中 VS分散、標準化VS現地化などを軸に整理 各自レポートを作成、提出	70分
6回 田中	グローバル競争優位の作り方	価格、ブランド、技術、データなどを軸に整理	60分
7回 田中	AIが変えるグローバル経営	なぜAIが武器になるかを整理します	70分
8回 田中	データサイエンスの役割	AIも一部であるデータサイエンスの役割を整理 します	60分
9回 田中	AIによる市場予測と需要予測	Amazonなどの事例を使い整理します	80分
10回 田中	AIによる顧客理解	CDP、レコメンドなどから整理します	80分
11回 田中	グローバルSCMとAI	Apple、トヨタの事例から整理します	80分
12回 田中	AI時代の組織マネジメント	人がどのように活動する企業が求められるか整理 します	80分
13回 田中	日本企業のグローバル敗因 テスト2回目	グローバル化が成功しなかった例をもとにその 要因を考えます	75分
14回 田中	AIを活用したグローバル戦略	事例をもとに整理します	80分
15回 田中	未来のグローバル経営	未来に向けて各自の考えを整理します	80分

ブライダルファッションプランニングゼミ

井口 多恵子

服飾文化学科 2年 通年(前期) 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

1年次に学んだ服飾造形の基礎、社会人基礎や配色の知識を活かし、全日本ブライダル協会認定のカリキュラムに沿ってブライダルに関する基礎知識を修得します。

到達目標(学修成果)

全日本ブライダル協会のブライダルファッションプランナーの資格取得の試験に合格する。
ブライダル業界についての理解が深まり、将来のキャリア選択の視野が広がる。
資格取得後は、さらなる上位の資格を目指す一歩になる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件の専門選択科目です。ブライダル業界で活躍できる基礎的な知識の修得に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

制作した作品について、提出後学生ポータルサイトにてコメントし、返却する。模擬試験、検定試験について試験実施後に解説を行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	20%

教科書

「ブライダルの基礎知識」全日本ブライダル協会発行
「フォーマルウェア・ルールブック」日本フォーマル協会発行

参考文献

必要に応じて適時紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業時にお知らせします。

備考

初回授業時に検定試験日をお知らせします。日程及び内容は変更があります。
検定料が25,000円(教科書代、受験料、認定証書代を含む)がかかります。なお、見学及びテーブルマナー実習費として13,000円、材料費(ペール制作、コサージュ制作)に1,000円が別途がかかります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 井口	1.オリエンテーション:ブライダル協会の活動と業界の現状を学ぶ 2.結婚式の種類:挙式のスタイルを学ぶ	予習:シラバスを読む コンテンツ1,2を読む	30分
2回 井口	2.結婚式の種類:挙式のスタイルを学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
3回 井口	3.日本の婚礼の歴史:古来~現代の婚礼スタイルに至るまでの歴史を学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
4回 井口	3.日本の婚礼の歴史(継続)4.結納・婚約の現状:結納・婚約から結婚式までの流れを学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
5回 井口	5.セレモニー・レセプションの現状とトレンド:多様化するセレモニー・レセプションの現状とトレンドを学ぶ 小試験	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
6回 井口	6.カラーコーディネート:演出として「色」を活用できるように色彩の基礎を学ぶ。	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
7回 井口	7.フラワーコーディネート:空間演出をする会場装花やウェディングブーケ・ブートニアについて学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
8回 井口	8.婚礼衣装の基本コーディネート:ウェディングドレスの必須アイテムとそのコーディネート方法を学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
9回 井口	9.フォーマルファッション:ルールブックを用いて、フォーマルウェアのドレスコードを学ぶ 小試験	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
10回 井口	10.和装コーディネート:和装の各部名称と身に付ける小物の意味や使用している素材について学ぶ。	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
11回 井口	10.和装コーディネート(継続):和装の各部名称と身に付ける小物の意味や使用している素材について学ぶ。	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む。	30分
12回 井口	婚礼に関する衣装やアクセサリーなどの見学、グループワーク(着装体験)とディスカッション	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
13回 井口	小試験解説11.フォトスタイリング:花嫁を美しく撮影するための基礎知識を学ぶ。小試験	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
14回 井口	12.ブライダルアテンドの方法:カップルの身の回りの世話やスケジュールを管理するアテンダントの役割を学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
15回 井口	フラワーコーディネート実習:コサージュ制作 婚礼衣装アイテム実習:ペール制作	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分

ブライダルファッションプランニングゼミ

井口 多恵子

服飾文化学科 2年 通年(後期) 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

1年次に学んだ服飾造形の基礎、社会人基礎や配色の知識を活かし、全日本ブライダル協会認定のカリキュラムに沿ってブライダルに関する基礎知識を修得します。

到達目標(学修成果)

全日本ブライダル協会のブライダルファッションプランナーの資格取得の試験に合格する。
ブライダル業界についての理解が深まり、将来のキャリア選択の視野が広がる。
資格取得後は、さらなる上位の資格を目指す一歩になる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件の専門選択科目です。ブライダル業界で活躍できる基礎的な知識の修得に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

制作した作品について、提出後manabaにてコメントし、返却する。模擬試験、検定試験について試験実施後に解説を行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	20%

教科書

ブライダルの基礎知識」全日本ブライダル協会発行
「フォーマルウェア・ルールブック」日本フォーマル協会発行

参考文献

必要に応じて適時紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業時にお知らせします。

備考

授業計画3回、4回、5回は時間割配当表の通常時間外に実施する計画になります。日程及び内容は変更があります。
検定料が25,000円(教科書代、受験料、認定証書代を含む)がかかります。なお、見学及びテーブルマナー実習費として13,000円、材料費(ペール制作、コサージュ制作)に1,000円が別途がかかります。(通年科目により、前期納入)

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 井口	フラワーコーディネート実習:コサージュ制作 婚礼衣装アイテム実習:ペール制作	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
2回 井口	フラワーコーディネート実習:コサージュ制作 婚礼衣装アイテム実習:ペール制作	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
3回 井口	和装と洋装衣装見学	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
4回 井口	セレモニー・レセプション会場見学	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
5回 井口	マナー実習	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
6回 井口	13.接客の知識:お客様に満足してもらえる物やサービスが提供できる知識を学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
7回 井口	14.基本のマナー(名刺交換・訪問・食事等):人と交際するうえで必要なマナー(礼儀作法)を学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
8回 井口	15.専門用語:式場で使う用語、宝飾(ジュエリー)用語を学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
9回 井口	試験対策1:過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ 提出	復習:授業範囲を読み返す	30分
10回 井口	試験対策2:過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ 提出	復習:学習範囲を読み返す	30分
11回 井口	試験対策3:過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ 提出	復習:学習範囲を読み返す	30分
12回 井口	試験対策4:過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ 提出	復習:学習範囲を読み返す	30分
13回 井口	試験対策5:過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ 提出	復習:学習範囲を読み返す	30分
14回 井口	模擬試験:検定試験を想定して行う	復習:すべての単元に目を通す	30分
15回 井口	まとめ 検定試験の解説	復習:検定試験の問題に目を通す	30分

ビューティー・メイクアップ術A

中島 由起子

服飾文化学科 2年 前期 選択 (1単位 講義)

授業の方針・概要

大学生として身に付けるべき美容メイク術の基本として、スキンケアからナチュラルメイクを学びます
実践的に行うことで、メイクの基本を身に付けることができます

到達目標(学修成果)

美容メイクの基本を身に付け活用できることで、社会人としての自信と生活を健康で豊かにする技術を身に付けることができます

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の単位となります

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業の中でレポート提出と改善などを解説します

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

必要に応じて資料を配布します

参考文献

授業内に適宜紹介します

オフィスアワー・研究室

講師控え室、それ以外の時間帯は教務にまでご連絡ください

備考

必要な教材等は授業でお知らせいたしますので、適宜ご持参ください

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 中島	オリエンテーション 使用するメイク道具の説明	ご自身で、準備いただくメイク道具の説明を具体的にしていきます	60分
2回 中島	オリエンテーション 使用するメイク道具の説明	ご自身でご準備いただくメイク道具の説明を具体的にしていきます	60分
3回 中島	スキンケア、化粧水、乳液、保湿日焼け止めまでの1連の使い方を実際にやっていきます	ご自身で化粧水、乳液、保湿類日焼け止めまでご準備ください	60分
4回 中島	メイク下地 プルベ、イエベなどの確認。実際に下地を使ってより良い肌に仕上げる	メイク下地ご準備ください。悩んだ時は色の付いていない下地をご準備ください。	60分
5回 中島	ファンデーション、様々なファンデーションの個性をお伝えしていきます。	実際にファンデーションを塗るため、ファンデーションのご準備をお願いいたします。	60分
6回 中島	コンシーラー くすみ、クマ、赤みの対処法をお伝えします	コンシーラーもお持ちの方は授業でも使用していきます。	60分
7回 中島	チーク 中顔面を狭く見せるやり方などお伝えします	ハイライトの入れ方などもこちらでお伝えしていきます。	60分
8回 中島	前半の授業の振り返り、デモンストレーションを交えながら、前半の授業をまとめていきます	メイク道具お持ち下さい。次週からアイメイクの準備をしてください	60分
9回 中島	アイメイク 上まぶた基本的なアイシャドーの塗り方アイラインのひき方マスカラの付け方お伝えしていきます	アイメイクを完成させるために、アイシャドーアイライナーマスカラなどをご持参ください	60分
10回 中島	アイメイク下まぶた 涙袋など目が大きく見える。ポイントお伝えしていきます。	実際に使ってみたい色味のアイシャドーをお持ちください	60分
11回 中島	アイブロー 基本的な眉毛の書き方、眉カットの仕方などお伝えしていきます	使いやすい、アイブローのメイク道具をお持ちください	60分
12回 中島	口紅、リップを可愛く塗る方法、きちんと見える塗り方などお伝えしていきます	使用しているリップがある方はお持ちください	60分
13回 中島	メイク後半の授業の振り返り、実際に質問などをお受けしながらデモンストレーションなども加えて進めていきます	授業内でメイクしていきますので、ご自身のメイク道具もお持ちください	60分
14回 中島	実際にご自身でメイクをする	予習 実際にご自身で使うメイク道具の準備授業にご持参いただきます	60分
15回 中島	実際にご自身でメイクをしてレポートを提出	メイク道具を忘れずに全てお持ちください	60分

ビューティー・メイクアップ術B

中島 由起子

服飾文化学科 2年 後期 選択 (1単位 講義)

授業の方針・概要

大学生として身に付けるべき美容メイク術の基本として、スキンケアからナチュラルメイクを学びます
実践的に行うことで、メイクの基本を身に付けることができます

到達目標(学修成果)

美容メイクの基本を身に付け活用できることで、社会人としての自信と生活を健康で豊かにする技術を身に付けることができます

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の単位となります

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業の中でレポート提出と改善などを解説します

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

必要に応じて資料を配布します

参考文献

授業内に適宜紹介します

オフィスアワー・研究室

講師控え室、それ以外の時間帯は教務にまでご連絡ください

備考

必要な教材等は授業でお知らせいたしますので、適宜ご持参ください

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 中島	オリエンテーション 使用するメイク道具の説明	ご自身で、準備いただくメイク道具の説明を具体的にしていきます	60分
2回 中島	オリエンテーション 使用するメイク道具の説明	ご自身でご準備いただくメイク道具の説明を具体的にしていきます	60分
3回 中島	スキンケア、化粧水、乳液、保湿日焼け止めまでの1連の使い方を実際にやっていきます	ご自身で化粧水、乳液、保湿類日焼け止めまでご準備ください	60分
4回 中島	メイク下地 プルベ、イエベなどの確認。実際に下地を使ってより良い肌に仕上げる	メイク下地ご準備ください。悩んだ時は色の付いていない下地をご準備ください。	60分
5回 中島	ファンデーション、様々なファンデーションの個性をお伝えしていきます。	実際にファンデーションを塗るため、ファンデーションのご準備をお願いいたします。	60分
6回 中島	コンシーラー くすみ、クマ、赤みの対処法をお伝えします	コンシーラーもお持ちの方は授業でも使用していきます。	60分
7回 中島	チーク 中顔面を狭く見せるやり方などお伝えします	ハイライトの入れ方などもこちらでお伝えしていきます。	60分
8回 中島	前半の授業の振り返り、デモンストレーションを交えながら、前半の授業をまとめていきます	メイク道具お持ち下さい。次週からアイメイクの準備をしてください	60分
9回 中島	アイメイク 上まぶた基本的なアイシャドーの塗り方アイラインのひき方マスカラの付け方お伝えしていきます	アイメイクを完成させるために、アイシャドーアイライナーマスカラなどをご持参ください	60分
10回 中島	アイメイク下まぶた 涙袋など目が大きく見える。ポイントお伝えしていきます。	実際に使ってみたい色味のアイシャドーをお持ちください	60分
11回 中島	アイブロー 基本的な眉毛の書き方、眉カットの仕方などお伝えしていきます	使いやすい、アイブローのメイク道具をお持ちください	60分
12回 中島	口紅、リップを可愛く塗る方法、きちんと見える塗り方などお伝えしていきます	使用しているリップがある方はお持ちください	60分
13回 中島	メイク後半の授業の振り返り、実際に質問などをお受けしながらデモンストレーションなども加えて進めていきます	授業内でメイクしていきますので、ご自身のメイク道具もお持ちください	60分
14回 中島	実際にご自身でメイクをする	予習 実際にご自身で使うメイク道具の準備授業にご持参いただきます	60分
15回 中島	実際にご自身でメイクをしてレポートを提出	メイク道具を忘れずに全てお持ちください	60分

インターンシップ

笹部 小百合

服飾文化学科 2年 前期又は後期 選択 (2単位 実験実習)

授業の方針・概要

専門コースの選択により明確になった将来目標を踏まえ、これまでの学修成果を実社会で試し、自身の適性や能力を客観的に把握する機会とする。産学連携協定に基づく企業を含む専門分野関連企業においてインターンシップ(就労体験)を実施し、実務を体験・学修することで実務能力の向上を図る。企業で求められる資質や姿勢を理解し、卒業後の進路意識を高めるとともに、今後の学修への主体的な取り組みにつなげる。実務経験を基にした振り返り指導を行い、社会で活躍できる人材としての意識形成を目指す。

到達目標(学修成果)

学内授業では得られない就労体験を通して、社会人としての基礎的なマナーやビジネス姿勢を身に付ける。さらに、自身の適性を理解し、将来の進路選択や就職活動に生かすことのできる判断力と実践的能力を養うことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は専門選択科目における卒業要件科目である。将来の就職および職業理解を深め、専門分野における実践的能力と社会適応力の修得を目的とする科目として位置付ける。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

研修日誌の提出内容に対する企業研修先からの講評、グループワークや課題、最終報告書および報告会に対する講評を行う。授業内での口頭指導に加え、メールおよび学内ポータルサイト等を活用してフィードバックを実施する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

社会人常識マナー検定テキスト 2・3級 株式会社エディプレス 清水書院

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示。

研究室：インダストリアルパターン研究室(第3校舎2階 3211)

備考

実務時期、期間：2・3年生夏休み(評価は前期少し遅れて反映)または2・3年生春休み(評価は後期少し遅れて反映)で10日以上~12日以内。研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。成績評価：事前授業や事後報告10%、研修日誌や報告書20%、報告会プレゼン20%、企業での就労態度や実務評価50%

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 1回	オリエンテーション：カリキュラムとスケジュール、目的、内容説明、研修について、履歴書の書き方(グループワーク)	予習：企業や研修先について研究する 自己紹介を考える	90分
2回 2回	面談：研修先企業や職種についての面談及び自己表現・履歴書作成	予習：履歴書を作成する	60分
3回 3回	事前授業：研修の心得とマナー等について	復習：講義について振り返る	30分
4回 4回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
5回 5回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
6回 6回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
7回 7回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
8回 8回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
9回 9回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
10回 10回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
11回 11回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
12回 12回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
13回 13回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
14回 14回	事後授業：企業研修の振り返り(グループワーク) 報告会に向けてのプレゼンテーション資料準備	復習：報告書作成と報告会に向けての準備	90分
15回 15回	事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会でのプレゼンテーション(学修成果と得られた技術を含む)および講評	復習：報告会での講評を振り返り、今後の学修に役立てる	30分

長期インターンシップ

笹部 小百合

服飾文化学科 2年 前期又は後期 選択 (4単位 実験実習)

授業の方針・概要

専門コースの選択により明確になった将来目標を踏まえ、これまでの学修成果を実社会で試し、自身の適性や能力を客観的に把握する機会とする。産学連携協定に基づく企業を含む専門分野関連企業においてインターンシップ(就労体験)を実施し、実務を体験・学修することで実務能力の向上を図る。企業で求められる資質や姿勢を理解し、卒業後の進路意識を高めるとともに、今後の学修への主体的な取り組みにつなげる。実務経験を基にした振り返り指導を行い、社会で活躍できる人材としての意識形成を目指す。

到達目標(学修成果)

学内授業では得られない就労体験を通して、社会人としての基礎的なマナーやビジネス姿勢を身に付ける。さらに、自身の適性を理解し、将来の進路選択や就職活動に生かすことのできる判断力と実践的能力を養うことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は専門選択科目における卒業要件科目である。将来の就職および職業理解を深め、専門分野における実践的能力と社会適応力の修得を目的とする科目として位置付ける。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

研修日誌の提出内容に対する企業研修先からの講評、グループワークや課題、最終報告書および報告会に対する講評を行う。授業内での口頭指導に加え、メールおよび学内ポータルサイト等を活用してフィードバックを実施する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

社会人常識マナー検定テキスト 2・3級 株式会社エディプレス 清水書院

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示。

研究室：インダストリアルパターン研究室(第3校舎2階 3211)

備考

実務時期、期間：2・3年生夏休み(評価は前期少し遅れて反映)または2・3年生春休み(評価は後期少し遅れて反映)で20日以上~24日以内。研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。成績評価：事前授業や事後報告10%、研修日誌や報告書20%、報告会プレゼン20%、企業での就労態度や実務評価50%

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 1回	オリエンテーション：カリキュラムとスケジュール、目的、内容説明、研修について、履歴書の書き方(グループワーク)	予習：企業や研修先について研究する 自己紹介を考える	90分
2回 2回	面談：研修先企業や職種についての面談及び自己表現・履歴書作成	予習：履歴書を作成する	60分
3回 3回	事前授業：研修の心得とマナー等について	復習：講義について振り返る	30分
4回 4回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
5回 5回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
6回 6回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
7回 7回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
8回 8回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
9回 9回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
10回 10回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
11回 11回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
12回 12回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
13回 13回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
14回 14回	事後授業：企業研修の振り返り(グループワーク) 報告会に向けてのプレゼンテーション資料準備	復習：報告書作成と報告会に向けての準備	90分
15回 15回	事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会でのプレゼンテーション(学修成果と得られた技術を含む)および講評	復習：報告会での講評を振り返り、今後の学修に役立てる	30分

家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む）

阿部 睦子

服飾文化学科 2年 前期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

社会生活の基本単位としての家庭を経営する視点から、家族や家庭を巡る諸現象の考察を通して、よりよい生活設計のあり方を探ります。授業形態は講義・演習を基本としますが、授業の展開は学生が主体的に取り組めるようにし、今後、教職の学習指導に活かすことができるとともに、学生自身の生活にいかすことを目指します。

到達目標（学修成果）

今日的生活スタイルの特徴を理解し、 家族関係・家族心理について、 衣食住の運営について、 家庭経済について、 家庭管理についてなどの視点から家庭経営について系統的に考え理解できるようにする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、選択科目として卒業要件科目となります。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

- ・基本的に授業の前後どちらかに振り返りの時間を設けます。
- ・ナラティブなど記述することで、学修者の自己研鑽の機会を設定します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

- ・生きる力をつける学習-未来をひらく家庭科- 望月 一枝 著者代表 教育実務センター

参考文献

- ・現代家族を読み解く12章 日本家政学会編 丸善出版
- ・持続可能な社会と人の暮らし 持続可能な生活研究会 建帛社
- ・オフィスアワー・研究室
- ・授業終了後30分程度・第3校舎講師控え室（第3校舎1階）、その他何かあれば教務室経由で対応します。

備考

評価においては、授業姿勢（欠席・遅刻も含む）及び日常課題を重要視します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 阿部	オリエンテーション：授業計画、生活構造の概要を知り、家庭生活の本質について考える。	予習：シラバスをよく読む。 復習：配布資料を見直す。	30分
2回 阿部	家族の形成と変遷：家族とは何か、家族の形成を中心とした人間生活の成り立ちについて歴史を辿ることで考える。	復習：配布資料を見直し、重要項目の理解を深める。	30分
3回 阿部	家族や家族関係をめぐる現代の諸現象と問題：現代の家族や家族関係の問題と改善案を考える。	復習：配布資料を見直し、重要項目の理解を深める。	30分
4回 阿部	自分らしく生きるための生活設計：生涯を見通す長期、中期、短期の設計など、ライフプランについて考える。	予習：将来をイメージしてくる。 復習：配布資料を見直す。	60分
5回 阿部	生活時間の実態と分類：生活時間からワークライフバランスについて考える。	復習：配布資料を見直し、重要項目の理解を深める。	30分
6回 阿部	「食べる」：家庭経営を具現化するために、食生活の実践を通して考える。	予習：発表者は準備。復習：配布資料を見直し、食生活について理解を深める。	60分
7回 阿部	「着る」：家庭経営を具現化するために、衣生活の実践を通して考える。	予習：発表者は準備。復習：配布資料を見直し、衣生活について理解を深める。	60分
8回 阿部	「住まう」：家庭経営を具現化するために、住生活の実践を通して考える。	予習：発表者は準備。復習：配布資料を見直し、住生活に理解を深める。	60分
9回 阿部	「育つ・育てる」：子どもを育てる視点から家族心理と家庭内の人間関係を考え、よりよい家庭経営の方向を考える。	予習：発表者は準備。復習：配布資料を見直し、子どもの成長に関する理解を深める。	60分
10回 阿部	「高齢社会」：高齢者の視点から家族心理と家庭内の人間関係を考え、よりよい家庭経営の方向を考える。	予習：発表者は準備。復習：配布資料を見直し、高齢者についての理解を深める。	60分
11回 阿部	「買う」：ライフステージ別の家計の具体例を通して家計の実態を知り、家庭経済と家庭管理について考える。	予習：発表者は準備。復習：社会とつながる家庭経済についての理解を深める。	60分
12回 阿部	「ジェンダー」：男女共同参画社会をベースに、よりよい家事労働の在り方について考える。	予習：発表者は準備。復習：配布資料を見直しジェンダーについての理解を深める。	60分
13回 阿部	「持続可能な社会」：ESD・SDGsを通して、循環型社会を創る消費者のライフスキルについて考える。	予習：発表者は準備。復習：持続可能な社会の形成についての理解を深める。	60分
14回 阿部	「シチズンシップ」：家庭経営と協働・共生生活を拓くライフスキルについて考える。	予習：発表者は準備。復習：シチズンシップ教育の広がりについて理解を深める。	60分
15回 阿部	まとめ：課題のフィードバックを行い、家庭経営についての理解を深める。	予習：これまでの学習を振り返る。 復習：今後の生活課題を設定する。	60分

食物学 (実践栄養学)

外川 恵

服飾文化学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本授業では、栄養学の基礎知識を習得し、ライフステージの特徴や健康課題を理解するとともに、健康の保持・増進およびウェルビーイングの実現に向けた食生活を実践する力を養うことを目的とする。栄養素の種類・はたらき、消化・吸収、健康との関連を学び、栄養の役割について総合的に理解する。授業は講義を中心とし、事例検討や演習を取り入れることで、知識の理解に留まらず、その活用を図る。

到達目標 (学修成果)

1. 栄養学の基礎知識、ライフステージの特徴、健康課題を理解し、説明できる。
2. 健康の保持・増進、ウェルビーイングの実現に向けた食生活を理解し、実践できる。
3. 教職課程履修者においては、家庭科の食生活分野に生かすことができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位 (ライフスタイル関係) であり、学位授与の方針として、専門コースに関わらず選択することが可能である。また、教員免許取得のための教職課程必修科目である。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

各講義のはじめに前回のワークシート等の解説を通して内容の振り返りを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題 (プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題 (プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

イラスト「栄養学入門-栄養の世界を探る-」 著者 田村明 ほか 東京教学社

参考文献

「栄養素の通になる」第5版 著者 上西一弘 女子栄養大学出版部

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回授業にて連絡する。調理研究室：第3校舎 3002

備考

課題やワークシートの作成にChatGPTなどの生成系AIやWikipedia等の文章等を (ほとんど) そのまま用いることは認めない。使用の際は、教員の指示を受けること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 外川	栄養学への導入：食・健康の現状と課題	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
2回 外川	食物と栄養摂取：食事の基本要素	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
3回 外川	食物と栄養摂取：食物の階層構造，食事バランスガイド	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
4回 外川	食物と栄養摂取：日本人の食事摂取基準	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
5回 外川	食物と栄養摂取：エネルギー・水	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
6回 外川	栄養素の性質とはたらき：炭水化物	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
7回 外川	栄養素の性質とはたらき：たんぱく質	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
8回 外川	栄養素の性質とはたらき：脂質	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
9回 外川	栄養素の性質とはたらき：脂溶性ビタミン	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
10回 外川	栄養素の性質とはたらき：水溶性ビタミン	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
11回 外川	栄養素の性質とはたらき：多量ミネラル	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
12回 外川	栄養素の性質とはたらき：微量ミネラル	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
13回 外川	食物と栄養摂取：各ライフステージの食・栄養摂取の特徴と健康課題	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
14回 外川	食事計画と献立作成	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
15回 外川	授業内試験とまとめ	事前学習：これまでの授業内容を確認する 事後学習：試験内容を振り返る	45分

キャリアプランニング

平松 隆司

服飾文化学科 2年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

就職活動は単に会社を探し仕事に就くといったことの作業をすることではなく、自分自身と向き合い、社会情勢をきちんと理解し、将来どのようなキャリアを形成していくかについて考え行動することである。短期的視点ではなく、将来にわたって自分の目指すゴールがどこにあるのか、自分がやりたいことは何なのか、そしてどんな人生にしたいのか、長期的に考えていくことがある。且つ必要なことである。キャリアデザインの基本的な考え方や就職活動の流れを理解し、より良い職業選択ができるように学習する。

到達目標 (学修成果)

キャリアプランニングとは何かを知り理解する。

雇用環境の現状を理解し、自己分析を通じて自らのキャリアをデザインする力を身につけることができる。

社会人、卒業生の体験を聞くことを通じて将来像を描ける能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目の単位となります。全学生の共通必修で、社会人基礎力の向上に資する科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業課題 (レポートなど) については授業内にフィードバックする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題 (プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題 (プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

授業で必要とする資料は適宜小冊子やプリント等を配付する。

参考文献

適宜

オフィスアワー・研究室

10:00 ~ 17:00 (水曜日除く) 本校舎1階就職部

備考

この科目では、原則として遅刻は認めません。授業中に次のことはしてはいけません。離席、私語、飲食、メールなど授業に関係のないこと。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 平松	イントロダクション; ノート, アンケート, 採点基準, 講義概要, ハンドアウト (印刷物) の配付	予習: シラパスを読む	60分
2回 平松	【業界・企業研究】 雇用と労働市場 新卒の雇用と労働市場を理解し社会が求める人材について考える	予習: 社会人に求められることについて考えてくる	30分
3回 平松	【業界・企業研究の基本】 業界・企業を研究するための情報収集 (デザイナーの仕事)	予習: 将来、目指している仕事について考える 復習: 産業と職業に関するレポート	30分
4回 平松	【業界・企業研究の基本】 業界・企業を研究するための情報収集 (小売業アパレルについて)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
5回 平松	【業界・企業研究の基本】 業界・企業を研究するための情報収集 (ECビジネスの制作現場について)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
6回 平松	【業界・企業研究の基本】 業界・企業を研究するための情報収集 (スタイリストについて)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
7回 平松	【業界・企業研究の基本】 業界・企業を研究するための情報収集 (小売業アパレルについて)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
8回 平松	【業界・企業研究の基本】 業界・企業を研究するための情報収集 (総合アパレルについて)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
9回 平松	【業界・企業研究の基本】 業界・企業を研究するための情報収集 (新スタイルのビジネスモデルについて)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
10回 平松	【業界・企業研究の基本】 業界・企業を研究するための情報収集 (縫製工場について)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
11回 平松	【業界・企業研究の基本】 新卒人材について考える (各企業の人事部からの説明)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
12回 平松	【業界・企業研究の基本】 業界・企業を研究するための情報収集 (副資材・付属品について学ぶ)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
13回 平松	新卒の雇用と労働市場を理解し、求める人材について考える就職活動の流れについて	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
14回 平松	新卒の雇用と労働市場を理解し、求める人材について考える就職活動の流れについて	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
15回 平松	【まとめ】 期末試験	14回返に配付した資料を復習してくる 学んだことを元に就職活動を準備する	30分

心理学 A

手島 陽介

服飾文化学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

心理学は、人の行動や心を科学的に研究する学問である。本講義では、基礎心理学の分野を中心に、心理学の全体がつかめるよう幅広い領域の理論について、概説する。「心」とは何か、「心理学」とはどのような学問か、ディスカッションなど、体験的な学習を通して、自ら学び、深めていくことを目指していく。また、服飾業界やビジネス場面において心理学知見がどのように活用されているかにも触れていく。

到達目標 (学修成果)

心理学の領域における概念を理解し知識を身につけるとともに、心理学的な見方ができるようになることが到達目標である。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、教養科目の選択科目で卒業要件科目である。心理学的知見を身につけ、社会人としての教養・基礎力を培う。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

15回目に課題についての解説と小テストの返却をし、心理学Aのまとめをする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

進行に合わせて毎時間プリントを配布する。

参考文献

蓮見将敏ほか (編) 『人間関係の心理学』 福村出版
 二宮克美ほか 『ベーシック心理学』 医歯薬出版株式会社

オフィスアワー・研究室

前期：水曜日 (12:00-15:00) 研究室 後期：水曜日 (12:00-15:00) 研究室

【連絡研究室】心理学研究室 (研究棟1階 6015)

備考

毎時間、ファイルに入れたプリントを持参してください

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 手島	「心」って何だろう？ 心理学の入り口をのぞいてみる (心理学の定義・研究分野・意識と無意識)	予習:心理学という学問についてのイメージ、何を学びたいかを考えてくる。	30分
2回 手島	「心」って何だろう？ 心理学の広がりや歴史的に紐解く	復習:プリントを振り返り、日常の心理現象について考える	30分
3回 手島	わたしの性格はどうできている？ 性格の心理学 (パーソナリティ理論・遺伝と環境・性格心理テスト体験)	復習:パーソナリティテストの結果を見て、自身の現在の状況について振り返る	30分
4回 手島	人はどうやって成長するのか？ (子ども編) 発達段階理論・乳幼児期～児童期	予習:誕生してから現在までどのような発達経過を辿ってきたのかを考えてくる	30分
5回 手島	「自分らしさ」はいつできるのか？ (思春期・青年期編) 青年期の発達課題・アイデンティティ	復習:エリクソンの発達段階説をもとに現在の自分の課題について考える	30分
6回 手島	やる気のスイッチはどこにある？ モチベーションの心理学 (内発、外発的動機づけ・ストレス社会との関係)	復習:自身の身の回りのストレスについて考えコーピング方法を検討する	30分
7回 手島	うまく伝わらないのはなぜ？ コミュニケーションの心理学	復習:非言語的コミュニケーションを意識し他者と会話をしてみる	30分
8回 手島	どうして覚えられない？ どうして忘れる？ 記憶の構造・学習理論・記憶の歪み	復習:本日の資料と教科書を振り返り、学習の心理を復習し理解する。	30分
9回 手島	「感情」はどこから生まれるのか？ 感情理論・感情の分類と表出	予習:ここ最近に感じる感情について、出来事との関連を考えてくる	30分
10回 手島	イライラは悪いこと？ 欲求不満とこころの防衛 (ストレス理論・欲求・自我防衛機制)	復習:身の回りのストレスについて考え、コーピングを試してみる	30分
11回 手島	集団の中のわたしたち 集団心理学・社会的促進・リーダーシップ	復習:集団の心理的現象について振り返り日常の中での影響について考える	30分
12回 手島	「色」はなぜ心を動かすのか？ 色彩心理学と服飾分野 (色の心理的影響・視覚・服飾との関係)	復習:インテリアや服など周りの色を観察し、心理的影響について考察する	30分
13回 手島	自分の「強み」ってどう見つける？ 自己理解の心理学 (自己概念・無意識・自己一致と不一致)	復習:授業プリントを振り返り、再度自分の強みについて振り返る	30分
14回 手島	これまでの学びを整理する まとめ課題と小テスト	予習:配布資料、教科書を読み、復習する。	90分
15回 手島	心理学で「自分」を見直す時間 心理学Aの振り返りとフィードバック	復習:返却された課題、テストを振り返り、復習する。	60分

心理学 B

手島 陽介

服飾文化学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

基礎心理学を中心に概説した「心理学A」から、本講義「心理学B」では応用心理学を中心に概説する。ディスカッションを通して体験的に学び、心理学的な知見がどのように社会場面に活かされているのかを学習していく。心理学に親しみながら、知識を身につけるとともに、自己理解、他者理解を深めていく。

到達目標 (学修成果)

本講義を通し、論理的な思考力を養い、さまざまな見方や柔軟な行動ができるようになることを目指していく。また、学習したことを、日常生活や社会場面の中で具体的に活用できるようになることが到達目標である。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、教養科目の選択科目で卒業要件科目である。心理学的知見を身につけ、社会人としての教養・基礎力を培う。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

15回目に課題についての解説と小テストの返却をし、心理学Bのまとめをする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

進行に合わせて毎時間プリントを配布する。

参考文献

蓮見将敏ほか (編) 『人間関係の心理学』 福村出版
 二宮克美ほか 『ベーシック心理学』 医歯薬出版株式会社
オフィスアワー・研究室

前期：水曜日 (12 : 00-15 : 00) 研究室 後期：水曜日 (12 : 00-15 : 00) 研究室

【連絡研究室】心理学研究室 (研究棟 1階 6015)

備考

毎時間、ファイルに入れたプリントを持参してください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 手島	第一印象はなぜ決まる？ (心理学とは何か) 対人認知・印象形成・意識と無意識	予習：身近な心理的な現象について考えてくる	30分
2回 手島	「好き」はどのように生まれるのか？ (心理学とは何か) 対人魅力・恋愛心理学・推し活・人間関係の心理学	復習：プリントを振り返り、対人認知の心理について理解する	30分
3回 手島	人はなぜ影響されるのか？ 社会的影響・説得・交渉・CMや広告	習：他者からの影響を受けた経験について振り返り要因を探る	30分
4回 手島	「買いたくなる」のはなぜ？ 消費者心理・購買の心理学・ビジネス場面の影響理論	復習：実際のCMや広告などでメディアによる心理的影響について考える	30分
5回 手島	私たちは本当に正しく「見えている」のか？ 知覚の心理学・感覚器官のしくみ・錯視	復習：教科書とプリントより、錯視や幾何学図形を見て知覚を振り返る	30分
6回 手島	音楽はなぜ心と行動を変えるのか？ 音楽心理学・脳と音の関係・音楽療法を体験	予習：身の回りの音楽や店舗のBGM、環境音などについて調べてくる	30分
7回 手島	「考える」って何だろう？ (思考の心理学) 思考の心理学・問題解決・思考プロセス	予習：問題を解決した、乗り越えた場面について考えてくる	60分
8回 手島	創造性は才能？それとも努力？ (思考の心理学) 創造性理論・創造的パーソナリティ・創造の段階	復習：創造的な発想のプロセスを復習し、課題に生かしてみる	30分
9回 手島	犯罪はなぜ起こるのか？ 犯罪心理学・サイコパス・法と心理学・事件を読み解く	復習：配布プリントを振り返り、犯罪心理学の定義やデータについて確認する	30分
10回 手島	「こころが健康」ってどういう状態？ 精神的健康・ウェルビーイング	予習：現在の自分の健康状態について考えてくる	30分
11回 手島	心と身体はつながっている？ 心身相関・認知・感情・行動の相互作用	復習：心のモデルに、様々な状況を当てはめて考える	30分
12回 手島	整える力を身につける (健康心理学) ストレス理論・呼吸法・睡眠とメンタルヘルス	復習：呼吸について、日常で体験をする	30分
13回 手島	幸せはどこから生まれるのか？ 主観的幸福感・文化差・人間関係	復習：世界の幸福感についてのデータを振り返る	30分
14回 手島	これまでの学びを整理する まとめ課題と小テスト	予習：配布資料、教科書を読み、復習する。	90分
15回 手島	心理学で「自分」を見直す時間 心理学Bの振り返りとフィードバック	復習：返却された課題、テストを振り返り、復習する。	60分

憲法

東島 日出夫

服飾文化学科 2年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

この科目では、憲法について学ぶことを主としつつ、法学の入門的位置づけともなるよう工夫しながら授業を進めていきます。授業計画に掲げている様々な項目はもとより、近年話題を集めるトピックなどで、憲法学と関連し得る内容について、参考文献や具体的な判例・裁判例などを通じて理解を深められるようにします。関連する条文および解釈に関する知識を身につけつつ、法的な思考が養えることを目的とします。

到達目標(学修成果)

「憲法」や「法学」というと、堅苦しくて難しいものというようなイメージがあるかも知れませんが、そうした印象を払拭すべく、身近に起きている様々な事件などを素材に、法的にどのように理解したらよいか、わかりやすく説明します。また、自らも考えることで、能力、資質の向上をも目指し、将来社会人として生活していくうえで、役に立つような法的知識が得られることを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目です。なお、教員免許状取得を目指す人にとっては、教職課程必修科目となります。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

14回目に試験、15回目に試験の解説をします。また、毎回リアクションペーパーの提出を求めますが、そこに書かれた質問等に回答します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

毎回資料を配布します。

参考文献

- ・ 芦部信喜『憲法(第8版)』(岩波書店、2023年)・初宿正典、大沢秀介他『目で見る憲法(第5版)』(有斐閣、2018年)
- ・ 渋谷秀樹、赤坂正浩『憲法1人権(第8版)』(有斐閣、2022年)・『憲法2統治(第8版)』(有斐閣、2022年)

オフィスアワー・研究室

連絡先:教務課(本校舎) 出講日:金曜日

備考

10回以上出席することを必須とします(10回以上の出席がないと試験を受けても不合格となります)。成績評価は、試験の結果を主としますが、授業態度・姿勢、リアクションペーパーの記載内容等も加味します。授業内容の理解を深めるため、授業資料をもとに必ず予習、復習をしてください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 東島	ガイダンス、法解釈とは何か、憲法論の概説	シラバスの確認、憲法条文の印刷 (電子政府e-Govサイトで無償入手可)	30分
2回 東島	立憲主義、国民主権、平和主義	授業資料の予習と復習	45分
3回 東島	人権論概説、基本的人権、人権享有主体	授業資料の予習と復習	45分
4回 東島	基本的人権の限界	授業資料の予習と復習	45分
5回 東島	生命・自由・幸福追求権	授業資料の予習と復習	45分
6回 東島	法の下での平等	授業資料の予習と復習	45分
7回 東島	経済的自由権	授業資料の予習と復習	45分
8回 東島	精神的自由権 ・ 内心の自由・	授業資料の予習と復習	45分
9回 東島	精神的自由権 ・ 表現の自由・	授業資料の予習と復習	45分
10回 東島	人身の自由 ・ 刑事手続き・	授業資料の予習と復習	45分
11回 東島	人身の自由 ・ 裁判を受ける権利・	授業資料の予習と復習	45分
12回 東島	社会権 ・ 生存権、教育権・	授業資料の予習と復習	45分
13回 東島	社会権 ・ 勤労権、労働基本権・	授業資料の復習	45分
14回 東島	試験	授業資料の復習	90分
15回 東島	試験の解説、補論	試験問題の振り返り	45分

英語（総合）A

草場 千紘

服飾文化学科 2年 前期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

英語（総合）Aの授業では、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの4つのスキルを伸ばしていくことを目的とし、さまざまなトピックについて英語で学びます。授業内では、長文読解の演習に加え、発音についても知識を深め、英語を使うための力を身につけていきます。また個々の活動に加え、ペアワークやグループワーク、プレゼンテーションを通して自分の興味関心について表現する力を養います。

到達目標（学修成果）

日常生活においてコミュニケーションで用いられる語彙や表現を知り、場面に応じて使い分けることができるようになる。必要な情報を英語で正確に聞き取り、その内容が理解ができるようになる。自分の意見を適切に表現することができるようになる。以上の3点が到達目標です。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としての英語（総合）Aは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することを目指しています。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内での解説、必要に応じて“Campus Magic”を活用します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

Off to the World! Adventures in Language and Life ことばと文化の冒険旅行（金星堂）

参考文献

必要に応じて提示します。

オフィスアワー・研究室

【出講日】木曜日

【連絡先】本校舎1階教務課

備考

すべての英語レベルの学生が履修可能です。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 草場	イントロダクション、授業の説明	シラバスを読む。	30分
2回 草場	【Unit 1 Hitchhiking Around the World】	【復習】Unit 1の長文・単語の復習	30分
3回 草場	【Unit 2 Olympic Spirit!】	【復習】Unit 2の長文・単語の復習	30分
4回 草場	【Unit 3 The Power of Greetings】	【復習】Unit 3の長文・単語の復習	30分
5回 草場	ミニプレゼンテーション	【予習】ミニプレゼンテーション 準備	30分
6回 草場	【Unit 4 Where's My Hotel?】	【復習】Unit 4の長文・単語の復習	30分
7回 草場	【Unit 5 Our Global Connections】	【復習】Unit 5の長文・単語の復習	30分
8回 草場	【Unit 6 Welcome Home!】	【復習】Unit 6の長文・単語の復習	30分
9回 草場	ミニプレゼンテーション	【予習】ミニプレゼンテーション の準備	30分
10回 草場	【Unit 7 The Secret of Life】	【復習】Unit 7の長文・単語の復習	30分
11回 草場	【Unit 8 Is This Seat Taken?】	【復習】Unit 8の長文・単語の復習	30分
12回 草場	まとめテスト・前期末プレゼンテーションの準備について	【予習・復習】 テスト・プレゼンテーション準備	30分
13回 草場	まとめテスト・前期末プレゼンテーション	【予習】テスト・プレゼンテーション準備	30分
14回 草場	まとめテスト・前期末プレゼンテーション	【予習】テスト・プレゼンテーション準備	30分
15回 草場	まとめ、フィードバック	【復習】まとめ	30分

英語（総合）B

草場 千紘

服飾文化学科 2年 後期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

前期英語（総合）Aに引き続き、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの4つのスキルを伸ばしていくことを目的とし、さまざまなトピックについて英語で学びます。授業内では、長文読解の演習に加え、発音についても知識を深め、英語を使うための力を身につけていきます。また個々の活動に加え、ペアワークやグループワーク、プレゼンテーションを通して自分の興味関心について表現する力を養います。

到達目標（学修成果）

日常生活においてコミュニケーションで用いられる語彙や表現を知り、場面に応じて使い分けることができるようになる。必要な情報を英語で正確に聞き取り、その内容が理解ができるようになる。自分の意見を適切に表現することができるようになる。以上の3点が到達目標です。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としての英語（総合）Bは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することを目指しています。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内での解説、また適宜“Campus Magic”を活用します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

Off to the World! Adventures in Language and Life ことばと文化の冒険旅行（金星堂）

参考文献

必要に応じて提示します。

オフィスアワー・研究室

【出講日】木曜日

【連絡先】本校舎1階教務課

備考

すべての英語レベルの学生が履修可能です。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 草場	イントロダクション、授業の説明	シラバスを読む。	30分
2回 草場	【Unit 1~8】	【復習】Unit 1~8の重要単語の復習	30分
3回 草場	【Unit 9 Exploring World Religions】	【復習】Unit 9の長文・単語の復習	30分
4回 草場	ミニプレゼンテーション	【予習】ミニプレゼンテーション 準備	30分
5回 草場	【Unit 10 Let's Study Abroad!】	【復習】Unit 10の長文・単語の復習	30分
6回 草場	【Unit 11 What's the Most Difficult Language?】	【復習】Unit 11の長文・単語の復習	30分
7回 草場	【Unit 12 A Crowded Planet!】	【復習】Unit 12の長文・単語の復習	30分
8回 草場	ミニプレゼンテーション	【予習】ミニプレゼンテーション の準備	30分
9回 草場	【Unit 13 Vocabulary Roadblocks】	【復習】Unit 13の長文・単語の復習	30分
10回 服部	【Unit 14 Beware of Landmines!】	【復習】Unit 14の長文・単語の復習	30分
11回 草場	【Unit 15 World Citizenship】	【復習】Unit 15の長文・単語の復習	30分
12回 草場	まとめテスト・後期末プレゼンテーションの準備について	【予習・復習】 テスト・プレゼンテーション準備	30分
13回 草場	まとめテスト・後期末プレゼンテーション	【予習】テスト・プレゼンテーション準備	30分
14回 草場	まとめテスト・後期末プレゼンテーション	【予習】テスト・プレゼンテーション準備	30分
15回 草場	まとめ、フィードバック	【復習】まとめ	30分

ワールド・カルチャー A

草場 千紘

服飾文化学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

各国について一般的な知識を深めるとともに、その国で話されている言語や英語に目を向けることで、英語がいわゆる英語圏のものだけではなく、それぞれの国の言語文化背景が反映されたものであることを理解していきます。テキストはすべて英語になっていますが、グループプレゼンテーションやディスカッションなどを通して、他の学生とコミュニケーションを取りながら理解を深めることができます。また、本文の読解や動画の視聴などは主にリスニングとリーディングのスキルを高めることが期待できます。

到達目標 (学修成果)

諸外国の社会文化事情及びその国で話されている「英語」やその他の言語について理解できるようになる。また英語のポキャブラリー、リスニング、ライティング、リーディングの継続的なスキルアップをする。以上の2点が到達目標です。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目 (国際関係) ・選択科目です。教養選択科目 (一般・体育・国際関係) 16単位は卒業要件です。教養科目としてのワールド・カルチャーAは国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

毎回"Campus Magic"上で提出してもらリアクションペーパーは、授業内でフィードバックを行い、出来栄によってクラスで共有します。その他についても、授業内で解説を行い必要に応じて"Campus Magic"を活用します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

Scott Berlin、小林めぐみ 著 World Adventures (金星堂)

参考文献

必要に応じて提示します。

オフィスアワー・研究室

【出講日】木曜日

【連絡先】本校舎1階教務課

備考

「ワールド・カルチャーA」と「ワールド・カルチャーB」は授業の概要・目的はほぼ同じですが、扱うトピック(国)が異なります。初回授業内にて、グループプレゼンテーションのためのグループ分けを予定しています。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 草場	イントロダクション、授業の説明、グループ分け	シラバスを読む	30分
2回 草場	Chapter 1 INDIA	【予習】 Chapter 1を読む	30分
3回 草場	Chapter 1 INDIA	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
4回 草場	Chapter 2 PHILIPPINES	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 2を読む	30分
5回 草場	Chapter 2 PHILIPPINES	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
6回 草場	Chapter 3 THAILAND	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 3を読む	30分
7回 草場	Chapter 3 THAILAND	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
8回 草場	Chapter 4 VIETNAM	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 4を読む	30分
9回 草場	Chapter 4 VIETNAM	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
10回 草場	Chapter 5 KOREA	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 5を読む	30分
11回 草場	Chapter 5 KOREA	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
12回 草場	Chapter 6 FRANCE	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 6を読む	30分
13回 草場	Chapter 6 FRANCE	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
14回 草場	前期末まとめテスト	【予習】 テスト準備	90分
15回 草場	まとめ、フィードバック	【復習】 総復習	30分

ワールド・カルチャー B

草場 千紘

服飾文化学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

前期「ワールド・カルチャーA」に引き続き、各国について一般的な知識を深めるとともに、その国で話されている言語や英語に目を向けることで、英語がいわゆる英語圏のものだけではなく、それぞれの国の言語文化背景が反映されたものであることを理解していきます。テキストはすべて英語になっていますが、グループプレゼンテーションやディスカッションなどを通して、他の学生とコミュニケーションを取りながら理解を深めることができます。また、本文の読解や動画の視聴などは主にリスニングとリーディングのスキルを高めることが期待できます。

到達目標（学修成果）

諸外国の社会文化事情及びその国で話されている「英語」やその他の言語について理解できるようになる。また英語のポキャブラリー、リスニング、ライティング、リーディングの継続的なスキルアップをする。以上の2点が到達目標です。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としてのワールド・カルチャーBは国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回"Campus Magic"上で提出してもらリアクションペーパーは、授業内でフィードバックを行い、出来栄によってクラスで共有します。その他についても、授業内で解説を行い必要に応じて"Campus Magic"を活用します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

Scott Berlin、小林めぐみ 著 World Adventures (金星堂)

参考文献

必要に応じて提示します。

オフィスアワー・研究室

【出講日】木曜日

【連絡先】本校舎1階教務課

備考

「ワールド・カルチャーA」と「ワールド・カルチャーB」は授業の概要・目的はほぼ同じですが、扱うトピック（国）が異なります。初回授業内にて、グループプレゼンテーションのためのグループ分けを予定しています。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 草場	イントロダクション、授業の説明、グループ分け	シラバスを読む	30分
2回 草場	Chapter 7 ITALY	【予習】 Chapter 7を読む	30分
3回 草場	Chapter 7 ITALY	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
4回 草場	Chapter 8 DENMARK	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 8を読む	30分
5回 草場	Chapter 8 DENMARK	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
6回 草場	Chapter 9 PORTUGAL	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 9を読む	30分
7回 草場	Chapter 9 PORTUGAL	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
8回 草場	Chapter 10 TURKEY	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 10を読む	30分
9回 草場	Chapter 10 TURKEY	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
10回 草場	Chapter 11 EGYPT	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 11を読む	30分
11回 草場	Chapter 11 EGYPT	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
12回 草場	Chapter 12 SOUTH AFRICA	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 12を読む	30分
13回 草場	Chapter 12 SOUTH AFRICA	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
14回 草場	後期末まとめテスト	【予習】 テスト準備	90分
15回 草場	まとめ、フィードバック	【復習】 総復習	30分

実用英語 A

Kim Collins 園子

服飾文化学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

日常会話や仕事の場面での英語でのコミュニケーション方法を学びます。

到達目標 (学修成果)

本授業を履修することにより、食事の注文、道案内、アドバイス、様々なトピックについての会話、プレゼンテーションなど、日常的な場面で英語でのコミュニケーションができるようになります。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養 (国際関係) 選択科目です。教養選択科目 (一般・体育・国際関係) 16単位は卒業要件です。教養科目としての実用英語 A は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

小テストや課題は次回の授業で返却・解説します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

特になし

オフィスアワー・研究室

【研究室】英語研究室 (研究棟3階)

【出講日】金曜日 (英語研究室に連絡してください。)

備考

ハンドアウトはA4のファイルに綴じてください。期末に確認します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	イントロダクション	【予習】シラバスを読む	30分
2回 各自	インテリア - 単数/複数、前置詞	【復習】クラスルーム・イングリッシュクイズ	30分
3回 各自	地図 - 道を教える、尋ねる	【復習】ジャーナル準備	30分
4回 各自	ジャーナル (あらゆるテーマでのライティングやスピーキング)	【復習】ジャーナル	30分
5回 各自	食べ物 - 料理の注文	【復習】フレーズワークシート	30分
6回 各自	レストランの話	【復習】クイズ	30分
7回 各自	プレゼンテーションスキルと準備	【復習】スピーキングテスト準備	60分
8回 各自	中間発表テスト	【予習】テスト	30分
9回 各自	日常生活 - スケジュール	【復習】ジャーナル準備	30分
10回 各自	ジャーナル (あらゆるテーマでのライティングやスピーキング)	【復習】ジャーナル	30分
11回 各自	ショッピング - 比べる	【復習】フレーズワークシート	30分
12回 各自	プレゼンテーションスキルと準備	【復習】クイズ	30分
13回 各自	最終テストのプレゼンテーション準備	【復習】スピーキングテスト準備	60分
14回 各自	最終テストのプレゼンテーション	【復習】テスト	30分
15回 各自	最終テストのプレゼンテーションフィードバック	【復習】テストの復習	30分

実用英語 B

Kim Collins 園子

服飾文化学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

日常会話や仕事の場面での英語でのコミュニケーション方法を学びます。

到達目標 (学修成果)

本授業を履修することにより、映画やお祭り、伝統について話したり、さまざまなトピックについて話したり、プレゼンテーションを行ったりするなど、日常的な場面で英語でコミュニケーションをとることができるようになります。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養 (国際関係) 選択科目です。教養選択科目 (一般・体育・国際関係) 16単位は卒業要件です。教養科目としての実用英語Bは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

小テストや課題は次回の授業で返却・解説します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

【研究室】英語研究室 (研究棟3階)

【出講日】金曜日 (英語研究室に連絡してください。)

備考

ハンドアウト、テスト、プレゼンの準備はA4のファイルに綴じてください。期末に確認します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	コース紹介と夏休みについての会話	【予習】シラバスを読む 【復習】ワークシート	30分
2回 各自	夏休みについてショー・アンド・テル	【復習】夏休みについてのレポート	30分
3回 各自	好み 好き嫌い - 提案	【復習】ジャーナル準備	30分
4回 各自	ジャーナル (あらゆるテーマでのライティングやスピーキング)	【復習】ジャーナル	30分
5回 各自	Moviesムービーpt1	【復習】ワークシート	30分
6回 各自	Moviesムービーpt 2	【復習】クイズ	60分
7回 各自	プレゼンテーションスキルと準備	【復習】中間テストに向けて復習	30分
8回 各自	中間発表テスト	【復習】中間テスト復習	30分
9回 各自	マインドマップ	【復習】ワークシート	30分
10回 各自	祭りと伝統	【復習】ジャーナル準備	30分
11回 各自	ジャーナル (あらゆるテーマでのライティングやスピーキング)	【復習】ジャーナル	30分
12回 各自	祭りと伝統	【復習】クイズ	30分
13回 各自	プレゼンテーションスキルと準備	【復習】プレゼンテーション準備	60分
14回 各自	最終プレゼンテーション	【予習】プレゼンテーション	30分
15回 各自	フィードバック	まとめ	30分

ファッション英語 A

草場 千紘

服飾文化学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

ファッションに関する英語語彙・表現の習得、英文記事の内容を速く正確に理解する力を身につけファッション業界の最新事情に精通することを目指します。ネットニュースなどのファッション関連記事を扱い、語学としての英語と、服飾関連の知識の両方にフォーカスします。毎回の授業では、記事の内容把握に関する問題に取り組んでもらいます。また、ファッションに関連する動画を視聴しリスニングの練習も行います。

到達目標 (学修成果)

英語で書かれた記事の内容を理解し自分の言葉で説明できるようになる。映像と関連させながら聞こえてくる英語の内容を理解できるようになる。以上を目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目 (国際関係) ・選択科目です。教養選択科目 (一般・体育・国際関係) 16単位は卒業要件です。教養科目としてのファッション英語 A は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。さらに、語学と専門の内容とを関連させ、服飾業界で活躍できる専門力向上の一助となることをめざしています。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

クイズの解答はその場で提出してもらいます。解答は皆で共有し授業内でフィードバックを行います。まとめのテストは採点します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

プリントを配布します。

参考文献

必要に応じて指示します。

オフィスアワー・研究室

英語研究室 (研究棟3階6034) 第 1 回目の授業で提示します。

備考

テキストは、プリントを用意します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 草場	イントロダクション 課題の詳細説明	予習: シラバスを読む。授業内容について確認する。	30分
2回 草場	服飾関連記事の読解 (1) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
3回 草場	服飾関連記事の読解 (2) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
4回 草場	服飾関連記事の読解 (3) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
5回 草場	服飾関連記事の読解 (4) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
6回 草場	服飾関連記事の読解 (5) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
7回 草場	服飾関連記事の読解 (6) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
8回 草場	服飾関連記事の読解 (7) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
9回 草場	服飾関連記事の読解 (8) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
10回 草場	服飾関連記事の読解 (9) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
11回 草場	服飾関連記事の読解 (10) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
12回 草場	服飾関連記事の読解 (11) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
13回 草場	服飾関連記事の読解 (12) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
14回 草場	まとめ	予習: これまでの授業内容を振り返る	60分
15回 草場	講評	復習: これまでの授業内容を振り返る	50分

ファッション英語 B

草場 千紘

服飾文化学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

ファッションに関する英語語彙・表現の習得、英文記事の内容を速く正確に理解する力を身につけファッション業界の最新事情に精通することを目指します。ネットニュースなどのファッション関連記事を扱い、語学としての英語と、服飾関連の知識の両方にフォーカスします。毎回の授業では、記事の内容把握に関する問題に取り組んでもらいます。また、ファッションに関連する動画を視聴しリスニングの練習も行います。

到達目標 (学修成果)

英語で書かれた記事の内容を理解し自分の言葉で説明できるようになる。映像と関連させながら聞こえてくる英語の内容を理解できるようになる。以上を目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目 (国際関係) ・選択科目です。教養選択科目 (一般・体育・国際関係) 16単位は卒業要件です。教養科目としてのファッション英語 B は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。さらに、語学と専門の内容とを関連させ、服飾業界で活躍できる専門力向上の一助となることをめざしています。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

クイズの解答はその場で提出してもらいます。解答は皆で共有し授業内でフィードバックを行います。まとめのテストは採点します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

プリントを配布します。

参考文献

必要に応じて指示します。

オフィスアワー・研究室

英語研究室 (研究棟3階6034) 第 1 回目の授業で提示します。

備考

テキストは、プリントを用意します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 草場	イントロダクション 課題の詳細説明	予習: シラバスを読む。授業内容について確認する。	30分
2回 草場	服飾関連記事の読解 (1) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
3回 草場	服飾関連記事の読解 (2) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
4回 草場	服飾関連記事の読解 (3) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
5回 草場	服飾関連記事の読解 (4) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
6回 草場	服飾関連記事の読解 (5) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
7回 草場	服飾関連記事の読解 (6) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
8回 草場	服飾関連記事の読解 (7) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
9回 草場	服飾関連記事の読解 (8) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
10回 草場	服飾関連記事の読解 (9) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
11回 草場	服飾関連記事の読解 (10) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
12回 草場	服飾関連記事の読解 (11) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
13回 草場	服飾関連記事の読解 (12) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
14回 草場	まとめ	予習: これまでの授業内容を振り返る	60分
15回 草場	講評	復習: これまでの授業内容を振り返る	50分

フランス語（総合）A

福本 しのぶ

服飾文化学科 2年 前期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

フランス語の歴史を追いながら、フランス文化を学び、フランスのエスプリを感じ、フランス語の楽しさを実感できます。フランス語未習者も選択可能です。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、生きたフランス語を学びましょう。

到達目標（学修成果）

フランス語への抵抗感をなくし、日常会話、ファッション関連のフランス語を身につけ、基本的な文章の理解・作成ができ、Web辞書、Web翻訳を使いながら、フランス語サイトなど検索できるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目として卒業要件となります。服飾業界で活躍するための資質・能力を養い、広く深い教養と総合的判断力を培うことを目指しています。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業開始時に、前回内容の復習/理解の確認を行い、最後にレポート提出か発表をしてもらう。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

随時コピー配布。
仏和辞書、フランス語教科書等お持ちの方は持参してください。

参考文献

大学図書館に豊富に備えられているフランス語の書籍やDVD

オフィスアワー・研究室

木曜日（12：20～12：50）第3校舎講師控室

備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。
希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受験希望者対象に随時補習を行う。
言語は話さないと上達しませんので、積極的に声をだしてください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1	フランスを知る フランスと日本の関わり合い 基本のあいさつ	復習：講義メモ整理	30分
2回 2	フランス語の歴史 発音の決まり	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	フランス語基礎会話	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
4回 4	フランスの今	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
5回 5	フランスの生活	復習：講義メモ整理	30分
6回 6	フランス映画を見る	復習：映画の概要資料を見る	30分
7回 7	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す	30分
8回 8	映画についてディスカッション	復習：見た映画を思い出す 予習：フランスらしさ、とは何か。	30分
9回 9	フランスの生活	復習：講義メモ整理	30分
10回 10	フランス語基礎会話	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
11回 11	フランスの文化	復習：講義メモ整理	30分
12回 12	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す	30分
13回 13	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す	30分
14回 14	映画についてディスカッション	復習：見た映画を思い出す 予習：フランスらしさ、とは何か。	30分
15回 15	まとめ	復習：講義メモ整理	30分

フランス語（総合）B

福本 しのぶ

服飾文化学科 2年 後期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

映像などを見ながら、フランスの歴史、フランス文化、芸術、社会背景に触れ、フランス語の楽しさを実感できます。フランス語の「聞く」「話す」「読む」「書く」を身につけ、最後には発表できるようにします。フランス語未習者も選択可能です。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、生きたフランス語を学びましょう。

到達目標（学修成果）

フランス語への抵抗感をなくし、日常会話、ファッション関連のフランス語を身につけ、基本的な文章の理解・作成ができ、Web辞書、Web翻訳を使いながら、フランス語サイトなど検索できるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目として卒業要件となります。服飾業界で活躍するための資質・能力を養い、広く深い教養と総合的判断力を培うことを目指しています。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業開始時に、前回内容の復習/理解の確認を行い、最後にレポート提出か発表をしてもらう。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

随時コピー配布。
仏和辞書、フランス語教科書等お持ちの方は持参してください。

参考文献

大学図書館に豊富に備えられているフランス語の書籍やDVD

オフィスアワー・研究室

木曜日（12：20～12：50）第3校舎講師控室

備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。
希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受験希望者対象に随時補習を行う。
言語は話さないと上達しませんので、積極的に声をだしてください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1	発音の決まり / 基本のあいさつ	復習：講義メモ整理	30分
2回 2	発音の決まり	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	フランスの芸術	復習：講義メモ整理	30分
4回 4	発音の決まり 基本単語	復習：講義メモ整理	30分
5回 5	フランスの過去	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
6回 6	フランスの現在	復習：講義メモ整理	30分
7回 7	フランス映画を見る	復習：講義メモ整理	30分
8回 8	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す 予習：映画の中のフランスらしさ、とは何か。	30分
9回 9	映画についてディスカッション	復習：見た映画を思い出す	30分
10回 10	映画のセリフを考える	復習：見た映画を思い出す	30分
11回 11	フランスの芸術	復習：講義メモ整理	30分
12回 12	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す	30分
13回 13	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す	30分
14回 14	映画についてディスカッション	復習：見た映画を思い出す	30分
15回 15	まとめ	復習：講義メモ整理	30分

ファッションフランス語 A

福本 しのぶ

服飾文化学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

フランス語の初級文法、簡単な会話を学びながら、基本的なファッション用語を身につける。映像などを見ながら、フランス・ファッション、文化に触れ、「聞く」「話す」「読む」「書く」を身につけ、最後には発表できるようにします。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、一步フランス人に近づきましょう。

到達目標 (学修成果)

フランス旅行する時、フランスでアトリエ現場研修する時などに役立つ表現を覚え使えるようになり、基本的なファッション用語が聞き取れるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目として卒業要件となります。現在フランスや日本で使用されている服飾用語を分析、つなぎ合わせていくと、服飾文化の源流の一つに辿り着き、大局的に服飾文化を見直す糸口が見つかる。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

随時コピー配布。
仏和辞書、フランス語教科書をお持ちの方は持参してください。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

教科書なし。毎回講義メモ配布。
仏和辞書、フランス語教科書をお持ちの方は持参してください。仏和辞典を購入希望の場合は要相談。

参考文献

大学図書館に豊富にあるフランス語の書籍・DVDやフランス語サイト。

オフィスアワー・研究室

木曜日 (12 : 20 ~ 12 : 50) 第3校舎講師控室

備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。
希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受験希望者対象に随時補習を行う。
言語は話さないと上達しませんので、積極的に声をだしてください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 1	フランスを知る 日本との違い 基本的なあいさつ	予習 : シラバスを読む	30分
2回 2	アルファベ・筆記体・発音の決まり・つづり字	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	衣服の名称 発音練習	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
4回 4	数字 (0~60) 発音練習 ものの大きさ サイズ表現	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
5回 5	数字 (70~100) 発音練習 フランス人が好きなファッション (ビデオ)	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
6回 6	衣服の名称 発音練習	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
7回 7	映画	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
8回 8	映画	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
9回 9	ディスカッション 言葉と発音	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
10回 10	色、フランス独自の色 名詞 (男・女)	復習 : 資料を読む	30分
11回 11	大学図書館のフランス語資料 ファッション用語探し	復習 : 資料を読む	30分
12回 12	生地素材、柄 発音練習	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
13回 13	映画	復習 : 資料まとめ	30分
14回 14	映画	復習 : 資料まとめ	30分
15回 15	まとめ	復習 : 資料のファイリング	30分

ファッションフランス語 B

福本 しのぶ

服飾文化学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

映像などを見ながら、フランス・ファッション、フランス文化、芸術、社会背景に触れ、フランスのファッションの在り方を見ていきます。映像、資料を見ながら解説をし、次の授業では語彙の説明、発音をし、理解を深めていきます。フランス語の「聞く」「話す」「読む」「書く」を身につけ、最後には発表できるようにします。

到達目標 (学修成果)

フランス旅行する時、フランスでアトリエ現場研修する時などに役立つ表現を覚え使えるようになり、基本的なファッション用語が聞き取れるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目として卒業要件となります。現在フランスや日本で使用されている服飾用語を分析、つなぎ合わせていくと、服飾文化の源流の一つに辿り着き、大局的に服飾文化を見直す糸口が見つかる。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

最後にフランス人デザイナーに関するレポートを提出。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

教科書なし。毎回講義メモ配布。

仏和辞書、フランス語教科書等お持ちの方は持参してください。仏和辞典を購入希望の場合は要相談。

参考文献

大学図書館に豊富にあるフランス語の書籍・DVDやフランス語サイト。

オフィスアワー・研究室

木曜日 (12 : 20 ~ 12 : 50) 第3校舎講師控室

備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。

希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受験希望者対象に随時補習を行う。

言語は話さないと上達しませんので、積極的に声をだしてください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 1	ファッションフランス語A 簡単な復習 基本的な挨拶 発音の決まり	予習 : シラバスを読む	30分
2回 2	発音の練習 フランス語の単語	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	フランスのファッション・デザイナーについて フランスのファッションの多様性	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
4回 4	映画	復習 : 映画を思い出す	30分
5回 5	映画	復習 : 映画を思い出す	30分
6回 6	映画に使われていた言葉 映画についてのディスカッション	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
7回 7	フランスのファッション・デザイナーについて あなたにとってのファッションとは?	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
8回 8	モードとフランス フランス文化庁の関わり合い グループディスカッション	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
9回 9	最終レポートに関して 大学図書館にてレポートの資料あつめ	復習 : レポート資料整理	30分
10回 10	ファッション・ドキュメンタリー	復習 : 資料を読む	30分
11回 11	ファッション・ドキュメンタリー	復習 : 資料を読む	30分
12回 12	フランスのファッション学校	復習 : 講義メモ整理	30分
13回 13	レポート仕上げ	復習 : 資料のまとめ 予習 : プレゼンテーションまとめ	30分
14回 14	レポート発表	復習 : 資料のまとめ 予習 : プレゼンテーションまとめ	30分
15回 15	レポート発表 まとめ	復習 : 資料のまとめ	30分

中国語（総合）A

盧 繁華

服飾文化学科 2年 前期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

中国語と日本語との構文上の大きな相違点を理解し構文の仕組みから学びはじめる。教材文や模範文を使って基礎文法文型を中心に勉強し読み書きを合わせて授業を進める。

到達目標（学修成果）

常用語彙と文法文型を操って中国語構文の組み立てができるようにする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語（総合）】は卒業認定に必要な教養科目の1つである。将来の社会に向かって語学を操り、様々な適応力を可能にすることを培い社会人が持つべき豊かな言語表現力を身に付けるようにめざす。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内と授業外で完成した平常小テストを学期末に返却して総合まとめ及びセルフチェックを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

『改定新版 中文課本 基礎編』竹島金吾 著 発行所 金星堂

参考文献

学校附属の図書館にある中国語辞書類や中国語に関連する書籍、週刊新聞『中文導報』などを利用する。

オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	文の構成法の基礎	復習:中国語のスペリング練習	30分
2回 盧	文の構成法の基礎	復習:中国語のスペリング練習	30分
3回 盧	文的構成する成分:1.形態素、2.単語	復習:中国語のスペリング練習	30分
4回 盧	3.フレーズ、4.短文	予習:教科書の第1課、第2課の読解内容	35分
5回 盧	文の分類:1.表現機能による分類	復習:第1課、第2課の教科書ページ練習問題	40分
6回 盧	平叙、疑問文、命令文、感嘆文、	予習:第3課、第4課の読解内容	35分
7回 盧	2.構造による分類	復習:第3課、第4課の教科書ページの練習問題	40分
8回 盧	主述文、非主述文、	予習:第5課、第6課の読解内容	35分
9回 盧	3.述語の性質による分類	復習:第5課、第6課の教科書ページ練習問題	40分
10回 盧	動詞述語文、形容詞述語文、	予習:第7課、第8課の読解内容	35分
11回 盧	形容詞述語文、動詞述語文、	復習:第7課、第8課の教科書ページ練習問題	40分
12回 盧	文の基礎構文の活用	予習:第9課、第10課の読解内容	35分
13回 盧	文の基礎構文の応用	復習:第9課、第10課の教科書ページ練習問題	40分
14回 盧	前期内容の総合まとめ	総合まとめの所定練習問題	50分
15回 盧	前期内容の総合まと	総合セルフチェック	60分

中国語（総合）B

盧 繁華

服飾文化学科 2年 後期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

既習の内容を実践に応用できるようにする。教材文を使うと同時に中国語圏のニュース記事などの新鮮な話題を取り入れた模範文に合わせて勉強し、文章翻訳をも新たに拡張する。

到達目標（学修成果）

大学二年生の中国語レベルに達成し中国語の文章力を身につけることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語（総合）B】は【中国語（総合）A】と併せて教養科目中の一般選択科目であるが卒業認定総単位数に含まれている。将来の社会人として持つべき豊かな言語表現力を磨く必要な科目である。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回の授業内授業外で完成した平常小テストを学期末に返して、総合まとめと期末テストの基本になる。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

『2冊めの中国語 購読クラス(改訂版)』 劉穎 等 著（白水社）

参考文献

学校附属図書館にある週刊新聞『中文導報』、中華圏のネットニュースやTVドラマを利用する。

オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	ウォーミングアップ、前期既習の文法文型をチェック	復習：前期第1課～6課までの所定練習問題	50分
2回 盧	特殊文“是...的”応用	予習：第7課「交朋友」の単語やフレーズ	30分
3回 盧	中国語文の補語、1. 様態補語	復習：第7課の読解練習問題	45分
4回 盧	2. 可能補語	予習：第8課「聚餐」の単語やフレーズ	30分
5回 盧	常用疑問詞の不定用法	復習：第8課の読解練習問題	45分
6回 盧	選択複文の特徴	予習：第9課「闹钟」の単語やフレーズ	30分
7回 盧	受身文「被」の構文	復習：第9課の読解練習問題	45分
8回 盧	転折複文の常用	予習：第10課「打工」の単語やフレーズ	30分
9回 盧	動量補語の使い方	復習：第10課の読解練習問題	45分
10回 盧	使役文	予習：第11課「寒假」の単語やフレーズ	30分
11回 盧	連動文の構造	復習：第11課の読解練習問題	45分
12回 盧	「把」の文構成特徴	予習：第12課「留学」の単語やフレーズ	30分
13回 盧	常用副詞“就”、“都”の応用	復習：第12課の読解練習問題	45分
14回 盧	後期内容の総合まとめ	後期内容の所定まとめ練習	60分
15回 盧	後期内容のセルフチェック	セルフチェック	60分

中国語（会話）A

盧 繁華

服飾文化学科 2年 前期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

中国語発音の特徴とローマ字表記規則から学びはじめ、会話に必要な語彙や規範的なフレーズや基礎語句を併せて学ぶ。授業は聞く、話す、書くなどの形式で進める。

到達目標（学修成果）

正しい発音をマスターすることを到達目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語会話】は卒業認定に必要な教養科目の1つである。将来の社会に向かって語学を操り、様々な適応力を可能にすることを培い社会人が持つべき豊かな言語表現力を身に付けることをめざす。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内と授業外で完成した平常小テストを学期末に返却して総合まとめと期末テストを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

『改定新版 中文課本 基礎編』竹島金吾 著 発行所 金星堂

参考文献

学校附属図書館にある中国語辞典類や中国語書籍、週刊新聞『中文導報』などを利用する。

オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	中国語の発音のしくみ	復習：母音・子音の発音練習	30分
2回 盧	中国語の表記法、アルファベットの認識	復習：複合母音の発音練習	30分
3回 盧	中国語の読み方、スペリングの規則	復習：鼻母音の発音練習	30分
4回 盧	頻繁に使う日常挨拶の言葉、人称代名詞	予習：課本の第1課、第2課の音声練習	35分
5回 盧	名詞述語文（Aは何だ）	復習：第1課、第2課の教科書ページ聴解練習	40分
6回 盧	中国語の肯定文・否定文・疑問文	予習：課本の第3課、第4課の会話練習	35分
7回 盧	反復疑問文の文型特徴	復習：第3課、第4課の教科書ページ聴解練習	40分
8回 盧	数と年・月・日・時刻の言い方	予習：課本の第5課、第6課の会話練習	35分
9回 盧	動詞述語文（主語Aはどうする）	復習：第5課、第6課の教科書ページ聴解練習	40分
10回 盧	形容詞述語文（主語Aはどうだ）	予習：課本の第7課、第8課の会話練習	35分
11回 盧	存在を表わす文	復習：第7課、第8課の教科書ページ聴解練習	40分
12回 盧	場所や方向について言葉	予習：課本の第9課、第10課の会話練習	35分
13回 盧	主述述語文（AのBは何だ / AはBがどうだ）	復習：第9課、第10課の教科書ページ聴解練習	40分
14回 盧	前期内容の総合まとめ	前期内容の総合まとめ聴解練習	50分
15回 盧	前期内容の総合まとめ	総合セルフチェック	60分

中国語（会話）B

盧 繁華

服飾文化学科 2年 後期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

語彙やフレーズを確実に把握した上で会話の応用範囲を深める。教材文のほかに中国の衣食住文化に触れる実践的な表現語の内容を新たに勉強する。

到達目標（学修成果）

聞き取れる内容を正確に伝えられ、自分の意思でフリートークができることをめざす。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語(会話)B】は【中国語(会話)A】と併せて教養科目の一般選択科目であるが卒業認定総単位数に含まれている。将来の社会人として持つべき豊かな中国語の表現力を磨く必要な科目である。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業内授業外の課題を学期末にまとめて返す、期末テストの基本になる。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

『しゃべくり 中国語 ～場面による中国語会話～』 内田慶市 等 著（金星堂）

参考文献

学校附属図書館にある週刊新聞『中文導報』、中華圏のネットニュースやTVドラマを利用する。

オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	前期の内容をチェック	復習:既習の語彙やフレーズの所定問題練習	50分
2回 盧	病院での表現、	予習:第七課「看病」の語彙やフレーズの調べ	40分
3回 盧	すでに起こったことについて聞く	復習:第七課の教科書ページの音声練習	40分
4回 盧	値切る時の表現	予習:第八課「购物」の語彙やフレーズの調べ	40分
5回 盧	相手の意見を求める、サイズや様子がちょうど良い	復習:第八課の教科書ページの音声練習	40分
6回 盧	褒める、謙遜する表現	予習:第九課「旅行」の語彙やフレーズの調べ	40分
7回 盧	物の比較表現、比較の否定形と肯定形	復習:第九課の教科書ページの音声練習	40分
8回 盧	使役文、動作の結果表現	予習:第十課「美发」の語彙やフレーズの調べ	40分
9回 盧	反語文	復習:第十課の教科書ページの音声練習	40分
10回 盧	現在進行形（動作の進行）	予習:第十一課「时装」の語彙やフレーズ調べ	40分
11回 盧	服スタイル及び服の言い方	復習:第十一課の教科書ページの音声練習	40分
12回 盧	現在進行形、条件を追加する	予習:第十二課「住宿」の語彙やフレーズ調べ	40分
13回 盧	ホテルで役立つ表現のまとめ	復習:第十二課の教科書ページの音声練習	40分
14回 盧	後期内容の総合まとめ	復習:後期内容のまとめ会話練習	60分
15回 盧	後期内容の総合まとめ	セルフチェック	60分

博物館経営論

丸山 憲子

服飾文化学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

博物館の経営について学習する。多様化する博物館の経営体制について認識を深め、今日の博物館経営をめぐる諸相を把握し、今、博物館に何が求められているのか、また博物館本来の存在意義について学習する。

到達目標(学修成果)

- ・博物館の適切な機能や経営体制の把握
- ・ミュージアムマネジメントについての基礎的事項の理解
- ・現代博物館を多角的な視点で考察できることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得(大学を卒業して学士の学位を取得するとともに得られる資格)のために、文部科学省令の定める大学で習得すべき科目の一つ。卒業要件科目ではありません。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

小テスト・試験後の解説

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業時に指示します。

参考文献

随時、紹介します。

課題内容に即した資料プリントを配布します。

オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

備考

博物館に関する時事問題を随時取り上げます。

学生の興味・関心に応じて弾力的に対応します。

普段から博物館見学、博物館に関する情報収集等積極的に行いましょう。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 丸山	オリエンテーション(博物館経営論の概要の説明・授業計画)	予習: シラバス(学芸員課程部分)を読んでおくこと。	30分
2回 丸山	ミュージアムマネジメントの意義について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
3回 丸山	博物館法について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
4回 丸山	独立行政法人立等、設立母体 について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
5回 丸山	指定管理者等、設立母体 について学習する。 設立母体についてのまとめ(小テスト)	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
6回 丸山	博物館評価について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
7回 丸山	博物館の館内組織・館外組織について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
8回 丸山	博物館の施設・設備について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
9回 丸山	博物館におけるマーケティングについて学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
10回 丸山	ミュージアムショップやレストラン等アメニティという側面から学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
11回 丸山	今日の社会状況を踏まえた博物館の課題について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。振り返りをしておくこと。	60分
12回 丸山	まとめ(小テスト)及びプレゼンテーションのための説明。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。プレゼンテーション準備。	30分
13回 丸山	実在する博物館を挙げて経営論の観点よりプレゼンテーション・ディスカッション	予習: プレゼンテーション準備 復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	60分
14回 丸山	実在する博物館を挙げて経営論の観点よりプレゼンテーション・ディスカッション	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	60分
15回 丸山	総まとめ	復習: 全体の振り返り	60分

博物館資料論

丸山 憲子

服飾文化学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

博物館において資料は必要不可欠な存在です。どんな博物館でも「資料」を有し、コレクションをなしています。今日の博物館のコレクションは多種多様であり、一口で「博物館」と言ってもその範囲は極めて大きい。本講では現代博物館が扱う資料(コレクション)について、博物館の歴史とともに体系的に学習する。また、資料収集・整理保管・調査研究・教育普及という4つの博物館機能(活動)を通して、いわゆる実物(1次資料)から2次資料が発生していくことを理解し、それぞれの機能(活動)における1次資料・2次資料の特性・役割を学習する。

到達目標(学修成果)

博物館資料の様々な特性を理解し、博物館活動にとって必要なもの・ことを認識できるようにする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得(大学を卒業して学士の学位を取得するとともに得られる資格)のために、文部科学省令の定める大学で習得すべき科目の一つ。卒業要件科目ではありません。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

小テスト・試験後の解説

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業時に指示します。

参考文献

随時、紹介します。
課題内容に即した資料プリントを配布します。

オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

備考

博物館に関する時事問題を随時取り上げます。
学生の興味・関心に応じて弾力的に対応します。
普段から博物館見学、博物館に関する情報収集等積極的に行いましょう。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 丸山	オリエンテーション(博物館資料論の概要の説明・授業計画)	予習: シラバス(学芸員課程部分)を読んでおくこと。	30分
2回 丸山	博物館の成立背景に見られる資料についての事例を挙げ、博物館=資料の存在を認識する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
3回 丸山	1次資料と2次資料の博物館活動における役割、及び資料の価値について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
4回 丸山	1次製作資料として分類される実物製作資料と情報製作資料について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
5回 丸山	1次標本資料 について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
6回 丸山	1次標本資料 について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
7回 丸山	1次資料についてのまとめ(小テスト)	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
8回 丸山	2次資料 について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
9回 丸山	2次複合製作資料について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
10回 丸山	博物館機能を再確認する。 資料の収集について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
11回 丸山	資料の整理保管について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
12回 丸山	資料の調査研究活動について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
13回 丸山	教育普及という観点から、資料のもつ意味とその効果について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
14回 丸山	資料の取り扱い、及び運搬という観点から学習する。 博物館機能のまとめ(小テスト)	復習: 配布資料の読み返し。全体の振り返り	60分
15回 丸山	総まとめ	復習: 全体の振り返り	60分

博物館資料保存論

梶淵 彰太郎

服飾文化学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

博物館資料論を基礎として、博物館資料の保存の意義、目的、資料保存の前提としての劣化原因とその対策、資料の材質に応じた劣化対策、保存技術等について、論理的に授業を進めます。

到達目標(学修成果)

学芸員が日常的に取り扱う博物館資料について、収集、保管、調査研究、展示他の活用といった博物館機能の各局面において、資料保存の理論と実践法を習得し、時代に適応できる博物館学芸員としての資質を得られるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目ではありませんが、学芸員資格取得のための必修科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業時間中に小試験を実施し、出題の意図及び模範回答等について解説し、理解・習得の促進をサポートします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

本田光子・森田 聡 『博物館資料保存論』、青木 豊 編 『人文系博物館資料保存論』

オフィスアワー・研究室

土曜日(講義時間 14:40~16:10)

備考

授業への取組みは、出欠状況を中心に受講態度、取組状況等評価します。授業内試験を実施し、講義内容の理解度を測定し、成績判定に活用します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 梶淵	博物館資料保存の意義、目的	予習 シラバスを事前に目を通す	30分
2回 梶淵	博物館資料の種類と特性	復習 博物館資料の種類と種類ごとの特性について確認する。	30分
3回 梶淵	文化財保護と博物館資料 1	復習 文化財と博物館資料の関係について確認する。	30分
4回 梶淵	文化財保護と博物館資料 2	復習 博物館資料と文化財保護の関係について確認する。	30分
5回 梶淵	博物館史にみる資料保存の方法	復習 博物館史上の伝統的保管方法について確認する。	30分
6回 梶淵	博物館資料の材質による劣化と対策 1 瞬間的・破壊的な劣化(人災・天災)	復習 人災や天災による瞬間的・破壊的な劣化と対策について確認する。	30分
7回 梶淵	博物館資料の材質による劣化と対策 2 緩慢、確実に進行する劣化(温湿度、大気等)	復習 温湿度の変化、大気中の粉塵等の影響・対策について確認する。	30分
8回 梶淵	博物館資料の材質による劣化と対策 3 緩慢、確実に進行する劣化(汚染物質、薬品類、光等)	復習 大気中の汚染物質及び薬品類、光等の影響・対策について確認する。	30分
9回 梶淵	博物館資料の材質による劣化と対策 4 緩慢、確実に進行する劣化(虫害、黴菌類等)	復習 虫害及び黴菌類等の影響・対策について確認する。	30分
10回 梶淵	博物館資料の修理と修復	復習 博物館資料の修理・修復の必要性とその方法について確認する。	30分
11回 梶淵	博物館資料の保存環境(収蔵施設・展示施設等)	復習 博物館資料の保管・展示に適した施設の条件について確認する。	30分
12回 梶淵	博物館資料保存のための科学技術 1	復習 博物館資料の保存科学技術について確認する。	30分
13回 梶淵	博物館資料保存のための科学技術 2	復習 博物館資料の保存科学技術について確認する。	30分
14回 梶淵	博物館資料の取扱い 1(資料取扱い上の留意点等)	復習 博物館活動の様々な局面における資料取扱い上の留意点を再確認する。	45分
15回 梶淵	博物館資料の取扱い 2(展示ほかの活用等)	復習 展示他の活用の局面での資料保存を前提とする取扱い法を確認する。	45分